

令和4年度
松本市社会福祉協議会
事業報告書

社会福祉法人 松本市社会福祉協議会



— 目 次 —

令和4年度 松本市社会福祉協議会 事業報告総括	1～2
1 法人運営	
理事会・評議員会・監査	3～4
苦情等の対応・新型コロナウイルス感染症対策・人事制度改革	5～6
2 地域福祉の推進	
地域福祉活動の推進	7～13
ボランティアセンター活動の推進	14～19
福祉啓発活動	20
高齢者福祉事業	21～22
児童福祉事業	23～26
3 暮らしの支援と権利擁護	
生活支援体制整備事業	27
地域包括支援センター事業	27～28
自立支援事業	29～30
生活就労支援センター事業（まいさぼ松本）	30～31
成年後見支援センター事業	31～32
有償生活支援事業「つむぎちゃんサポート」	33
高齢者・障害者等への生活福祉関連事業	34～35
4 介護サービスの提供	
介護保険事業	36～39
5 障害者福祉の推進	
障害者在宅支援事業	40
障害者通所・就労支援施設の運営	
しいのみ学園	41～42
心身障害者福祉センター	43～44
希望の家	45～48
岡田希望の家	48～51

障がい者就労センター・はた	52～54
南ふれあいホーム	55～57
北ふれあいホーム	57～60
グループホーム井川城／グループホーム水汲	61～63
6 施設の管理運営	
総合社会福祉センター・梓川福祉センター・北部福祉複合施設	64
7 団体の運営・活動支援	
共同募金・日赤事業の推進	65
福祉団体の支援並びに連携	65
附属資料	67～84

令和4年度 松本市社会福祉協議会 事業報告総括

本年度は、本会創立70周年の節目を迎え、これを契機に一層地域に開かれた社協をアピールするため、社会福祉大会をはじめとする記念事業を行いました。また、本会の「使命・理念・基本目標」を改定し、これからの時代を見据えた組織のあり方を職員全員で再確認する機会としました。

一方、コロナ禍が始まって以来、本会では最も多くの利用者・職員が感染し、複数の事業所が休業を余儀なくされました。年度末にようやく収束の兆しが見え、地域福祉活動など徐々に人々の動きが活発になってきましたが、法人全体では前年度に引き続き大幅な赤字決算となり、経営改善が喫緊の課題として残りました。

地域福祉推進事業においては、令和3年度からの5ヵ年計画である第4期松本市地域福祉活動計画の2年目として、取組みの焦点を絞り込み、各地区で地区担当職員や地区生活支援員から事業の企画・提案など働き掛けを行いました。また、計画の周知と、計画策定にあたって把握した地区の福祉課題などについて、地区社協関係者と市社協役職員とが意見交換を行う「地域福祉懇談会」を27地区（令和3年度から累計29地区）で実施しました。

また、ボランティアセンター事業では、コロナ禍により停滞していた傾聴ボランティアを再開するための講座や災害ボランティアについて学ぶための講座を開催したほか、「社協つむぎちゃん劇団」「炊き出しキャラバン隊」の活動をはじめ、新たなボランティアグループ・活動の立ち上げを行いました。また令和4年度長野県総合防災訓練（松本市総合防災訓練）において災害ボランティアセンター設置・運営訓練を行ったなかで、物的、人的、技術的支援協定を締結している市内4ライオンズクラブ及び松本青年会議所と合同の訓練により連携体制を深めました。

生活福祉事業においては、地域での生活支援体制づくり等の調整役を担う地区生活支援員を新たに11地区へ配置したことで、市内全地区への配置が完了し、生活支援等助け合いの仕組みの拡充や、生活に関する課題解消を住民が主体となって推進する生活支援体制整備の体制が整い、5地区では独自の互助組織の活動が始まっています。

また、コロナ禍により職を失った方や収入が減少した方に対し、生活福祉資金の特例貸付の相談・受付を行ったほか、判断能力の低下した方が自立した日常生活を送るための支援や失業者への就労支援など、行政や専門職と連携し困りごとの早期発見と相談支援を行いました。成年後見支援事業では、成年後見制度利用促進法に基づく中核機関の業務を一部受託し、さらなる制度の利用促進に取り組んでいるほか、法人後見の受任、市民後見人の養成支援に取り組みました。

介護保険事業においては、新型コロナウイルス感染症の第7・8波の感染拡大で利用者や職員の感染により全通所介護事業所で休業したほか、利用者のサービス利用控えや施設入所に加え、人材不足により利用者の安定確保ができず、コロナ禍の4か年度でもっともその影響を受けた1年となりました。こうした中で、安定経営を目指し立ち上げた介護保険事業経営戦略プロジェクト会議等で対応策を協議し、新たな加算を取得するとともに、さらなる上位加算取得に向け人員の配置を見直しました。特に通所介護事業では利用率に合わせた事業区分の変更を新年度から実施する準備を進めるなど経営の改善に取り組みました。

障害者支援事業においても、コロナ禍によりグループホーム及び就労継続支援B型事業所において、休業や利用控え等により大変厳しい経営となりました。このような中、社会福祉協議会創立70周年の記念事業として総合社会福祉センターふれあいまつりを3年ぶりに開催し、また、地域住民との交流をめざした木陰マルシェを開催しました。特に事業開始から6年目を迎える喫茶事業「Cafe ポリジ」については、市民を交えた研究プロジェクトを設置し、喫茶の持つ意義やあり方の再考から今後の方向性や具体的な計画を示した運営方針を策定しました。

また、法令に基づく虐待防止委員会を設置したほか、本会の障害者支援方針に基づき、一人ひとりの個性を尊重したサービスの提供と、地域に開かれた施設運営を行うため、職員の資質向上に向けた研修等を実施しました。

1 法人運営

❖ 理事会・評議員会・監査等

(1) 理事会の開催

6月8日（第333回）

- ・松本市社会福祉協議会 役員候補者の推薦について
- ・令和3年度松本市社会福祉協議会 事業報告について
- ・令和3年度松本市社会福祉協議会 社会福祉事業会計 収支決算について
- ・第218回松本市社会福祉協議会 評議員会の招集について
- ・会長及び常務理事の職務執行状況について

6月23日（第334回）

- ・松本市社会福祉協議会 副会長の選定について
- ・松本市社会福祉協議会 評議員候補者の推薦について
- ・第11回松本市社会福祉協議会 評議員選任・解任委員会の招集について
- ・令和4年度松本市社会福祉大会 被表彰候補者の審査について

10月5日（第335回）

- ・令和4年度松本市社会福祉協議会 社会福祉事業会計第1回補正予算について
- ・第219回松本市社会福祉協議会評議員会の招集について
- ・本会の「使命・理念・基本目標（案）」について
- ・「くらしの資金」の償還対策について
- ・会長及び常務理事の職務執行状況について
- ・介護保険事業及び障害者支援事業の収支状況について
- ・新型コロナウイルス感染状況について
- ・地域福祉懇談会の実施状況について
- ・人事制度改革の進捗状況等について
- ・松本市 公の施設の指定管理者の応募について
- ・令和4年度 松本市社会福祉大会の開催について

1月24日（書面決議）

- ・松本市社会福祉協議会 監事候補者の選出について

3月9日（第336回）

- ・令和4年度松本市社会福祉協議会 社会福祉事業会計第2回補正予算について
- ・令和5年度松本市社会福祉協議会事業計画について
- ・令和5年度松本市社会福祉協議会 社会福祉事業会計収支予算について
- ・「くらしの資金」貸付金の欠損処分について
- ・第220回松本市社会福祉協議会評議員会の招集について
- ・人事制度改革の進捗状況について
- ・松本市 公の施設の指定管理者の指定申請結果について

(2) 評議員会の開催

6月23日（第218回・定時評議員会）

- ・松本市社会福祉協議会役員（理事）の選任について
- ・松本市社会福祉協議会役員（監事）の選任について
- ・令和3年度松本市社会福祉協議会事業報告について
- ・令和3年度松本市社会福祉協議会社会福祉事業会計収支決算について

10月14日（第219回）

- ・令和4年度 松本市社会福祉協議会 社会福祉事業会計第1回補正予算について
- ・本会の「使命・理念・基本目標（案）」について
- ・「くらしの資金」の償還対策について
- ・介護保険事業及び障害者支援事業の収支状況について
- ・新型コロナウイルス感染状況について
- ・地域福祉懇談会の実施状況について
- ・人事制度改革の進捗状況等について
- ・松本市 公の施設の指定管理者の応募について
- ・令和4年度 松本市社会福祉大会の開催について

2月20日（書面決議）

- ・松本市社会福祉協議会 監事の選任について

3月22日（第220回）

- ・令和4年度松本市社会福祉協議会 社会福祉事業会計第2回補正予算について
- ・令和5年度松本市社会福祉協議会事業計画について
- ・令和5年度松本市社会福祉協議会 社会福祉事業会計収支予算について
- ・「くらしの資金」貸付金の欠損処分について
- ・人事制度改革の進捗状況について
- ・松本市 公の施設の指定管理者の指定申請結果について

(3) 監査

5月27日に令和3年度事業執行状況、計算関係書類及び財産状況の監査を受け、いずれも適正であることが認められました。

(4) 評議員選任・解任委員会の開催

6月23日（第11回） 評議員（4名）の選任について

(5) 令和4年度役員及び評議員報酬

（理事10名、監事3名、評議員13名）

会 長（非常勤）	月 100,000 円
常務理事（常勤・事務局長兼任）	月 50,000 円
理 事（非常勤）	報酬支給額 計 154,000 円（日額 7,000 円）
監 事（非常勤）	報酬支給額 計 91,000 円（日額 7,000 円）
評 議 員（非常勤）	報酬支給額 計 224,000 円（日額 7,000 円）

❖ 苦情等の対応

事業実施において発生した苦情等に対応するため、苦情解決システムを設置し早期の解決を図りました。

(1) 苦情解決システム

苦情解決第三者委員	3名
苦情解決責任者	1名
苦情解決責任者補佐	10名
苦情受付担当者	10名

(2) 苦情対応件数

令和4年度苦情受付件数 10件 (附属資料 3)

❖ 新型コロナウイルス感染症対策

前年度に引き続き「松本市社会福祉協議会新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、事業所等における感染防止対策、職員の対応、会議・行事の取扱いなど、協議のうえ対策を徹底しました。

(1) 対策本部会議の開催

第22回(3月9日)

(2) 本部長通知の発出

4回(4月13日、7月26日、10月12日、3月9日)

(3) 職員感染者数

年度	延べ感染者数
4	203名
3	12名

(4) 新型コロナウイルス感染症による事業所休業状況

(附属資料 4)

令和4年度

事業所区分	施設数	休業日数 (うち部分休業日数)
デイサービスセンター	8事業所	74日(9日)
障害者就労継続支援事業所	4事業所	14日
児童センター(つどいの広場含む)	20館	128日(22日)
計	32	216日(31日)

❖ 人事制度改革

令和3年10月から進めている人事・給与制度改革について、プロジェクト会議で協議を重ねたうえで改定案を作成し、職員全体へ説明を行いました。年度末現在において労使協議を進めています。

【経過】

令和3年度

- ・公募型プロポーザルによりコンサルタントを選定
- ・第1回プロジェクト会議（以降令和4年9月まで17回実施）
- ・職員アンケート実施
- ・概要について職員説明会を開催
- ・職種別代表者ヒアリングの実施

令和4年度

- R 4. 5 労働組合への説明会開催
福祉職代表がプロジェクト会議に参加
- 6 労働組合代表がプロジェクト会議に参加
- 8 キャリアパス研修実施（主任以上対象）
- 9 骨子案について職員全体への説明会開催
- 10 理事会及び評議員会で進捗状況の報告
職員過半数代表者を選出
- 11 職域別説明会（児童厚生員）を開催
- 12 職員全体説明会の開催（2回）
職域別説明会（地区生活支援員）の開催
労働組合との第1回協議実施
- 5. 1 改定案に基づく個別給与試算表を職員へ配布
労働組合と事業者の意見に関する論点の整理
職域別説明会（子育て支援員）の開催
- 2 労働組合との第2回協議実施

2 地域福祉の推進

❖ 地域福祉活動の推進

(1) 第4期松本市地域福祉活動計画の推進

第4期松本市地域福祉活動計画の2年目として、個別の取組みを絞り込み、地区担当職員と地区生活支援員が地域の主体的な取組みを支援しました。

取組みの柱	取 組 み
豊かな心の 人づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアや担い手の育成を目的として、地域デビュー講座を開催しました。 全4回の講座 延べ参加者数 206名 ・地域の集いの場や行事において地区担当職員が出前講座を行いました。 実施回数 28回 参加者数 677名 ・社協つむぎちゃん劇団による、特殊詐欺被害防止など防犯意識の啓発を行いました。 劇団員数 本所：13人、四賀地区：6人 練習回数 本所：19回、四賀地区：8回 公演回数 本所：16回、四賀地区：13回
ささえあいの まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいいいききサロン等、地域の集いの場づくりに対し、費用の助成、企画・運営の助言等を行いました。 支援件数 315件 ・生活支援体制整備事業（つむぎちゃんサポート事業） 登録時説明会（全市対象） 2回 協力会員スキルアップ研修（全市対象） 6回 地区への出前説明会 11回
地域と人の つながりづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り安心ネットワーク事業として、地区・町会等に対し、「ささえあいマップ」づくりについて、必要性の説明や取組方法の助言等を行いました。 説明会等の働きかけを行った回数 20回 「ささえあいマップ」の取組みを行っている町会数 31町会

(2)「地域福祉懇談会」の実施

第4期松本市地域福祉活動計画の周知と、地区の福祉課題や社協からの提案事業などについて地区社協関係者と市社協役職員が意見交換を行うため、各地区で懇談会を開催しました。

【地区から出された主な意見・要望】

ア 地域づくり・地域福祉

- ・地域福祉の主体がどこであるべきか、はっきりしない。
- ・地区、地域任せにせず、地域福祉のノウハウや知恵は社協から指導してほしい。
- ・マンションが多く、町会加入や役員の引き受けに課題が多い。

イ 人材確保・育成

- ・町会役員の成り手がいない。
- ・町内会でのボランティア（送迎、集いの場）が高齢化し、後継者の確保に苦慮している。

ウ 民生委員・児童委員

- ・民生委員のなり手がなくて困っている。
- ・もっと民生委員の仕事を簡素化すべき。
- ・民生委員の補助的な役割を担う人材を町会に配置できるようにならないか。

エ 個人情報保護

- ・向こう三軒両隣ですらどんな人がいるのか情報がなく災害時に不安
- ・マンション住民の情報がなく町会活動に支障をきたしている。
- ・防災マップの取組みもいいが、その情報が外に漏れて犯罪に巻き込まれないか心配
- ・避難行動要支援者名簿は必要最小限の情報しかない。緊急連絡先などは必要であり、万が一の時の対応に苦慮している。

オ 地区での生活支援（助け合い）

- ・つむぎちゃんサポートの協力会員の養成や地域で困っている人への支援方法を教えてほしい。

カ 社協について

- ・行っている内容が漫然としていて分からない。もっと地域に中に入りニーズを把握していくほか、情報発信をすべき。
- ・困りごとの相談先、社協の事業紹介など分かりやすい冊子等が必要。

キ 共同募金等の募金・集金方法

- ・募金者の理解や集める町会も大変、募金制度自体を根本的にどうするのか考える過渡期に来ている。

ク 子ども福祉

- ・子どもたちが（自分たちの）地域であるという想いが持てる（愛着）教育が必要

(3) 見守り安心ネットワーク事業

町会、常会、隣組等における災害時や平時における支援を必要とする方の支え合いを進めるため、地域の情報（避難所や消火栓がどこにあるのか、危険箇所はどこか、支援を必要とする人がどこに住んでいるのか、支援ができる人がいるのか等）を住民間で共有するための地図「ささえあいマップ」を作成・更新するための「ささえあいマップ作成支援パンフレット」により地域で説明を行い、取り組める地域から「ささえあいマップ」の取組みを行いました。

(4) 地域デビュー講座の開催

ア 開催日・内容

8月17日 第1回「人生を豊かにする地域活動」

「ボランティアをしてみませんか？」

9月 7日 第2回「世代を越えた関わり

～子どもから高齢者までの世代間交流～

「地域で子育て」

9月26日 第3回「地域でともに生きていく

～つむぎちゃんサポートについて～

「様々な集いのカタチ ～地域のサロン等の活動～」

10月12日 第4回「地域で楽しみながら活動 ～活動の実践へ～」

イ 会場 松本市松南地区公民館 大会議室

ウ 延べ参加者数 206名

(5) 特殊詐欺防止対策

被害が後を絶たない高齢者を狙った新たな特殊詐欺被害防止への注意喚起のため、介護員など直接利用者と接する職員が、対話による被害防止の啓発をするための研修を行ったほか、松本警察署と協力して地域でのサロン等集いの場において直接住民へ講話を行いました。

ア 職員研修

日時 令和4年11月9日（水） 15：30～17：00

内容 ・つむぎちゃん劇団による特殊詐欺被害防止の寸劇
・松本警察署員による講話

参加者数 65人

イ 松本警察署員による各地区、町会等のサロン等集いの場での講話

実施回数 10回 延べ対象者 290人

(6) 地区社協及び町会福祉活動の推進・支援

ア 地区社協活動への助成

35地区社協の活動費として、世帯会費22,896,900円のうち3割にあたる6,869,070円を還元助成しました。

- イ 地域福祉活動推進支援事業 (附属資料 5)
各地区社協や町会などが行う地域福祉活動に対し、地域の実情に合わせたメニュー方式による助成金を交付しました。
地区数・件数・交付金額 35地区 225件 15,822,186円
- ウ 敬老の日行事費の助成(松本市補助事業) (附属資料 6)
地区社協等が実施する敬老の日行事に要する行事費を助成しました。
(75歳以上高齢者40,404人分 28,282,800円)
- エ ふれあい会食会事業への助成(松本市補助事業) (附属資料 7)
地区社協が行う一人暮らし高齢者及び高齢者夫婦等を対象にした、ふれあい会食会の賄材料費等を助成 34地区 6,578,500円
- オ 町会児童遊園整備事業
町会が行う児童遊園遊具の補修等への助成金の交付 6件 187,205円
- カ 地域福祉事業説明会
当会の地域福祉事業について理解を深め、補助事業等を有効に活用して地域福祉活動を推進していただくため、地区社協会長等を対象に説明会を開催しました。
日 時 令和4年4月27日(水) 13:30~
会 場 松本市総合社会福祉センター4階 大会議室

(7) 一人暮らし高齢者活動支援事業

生きがいと健康づくり、心身のリフレッシュを目的に、一人暮らし高齢者に対し交流の場を提供しました。

(四賀地区) いいききサロン事業	年間98回実施
(四賀地区) ささえあいサロンぷくぷくの家	年間利用者延べ840人
(波田地区) デイホーム事業	年128回実施
(梓川地区) 地域活動協力事業	28町会

(8) 結婚推進事業の実施

結婚を希望する男女へ出会いの機会として同年代や同趣味など、特定の項目を対象とした出会いのイベントを企画・開催し、成婚に向けた支援を行いました。

ア 第1回(出会いのイベント)

- ・日 時 令和4年11月13日(日)
- ・場 所 カメノヤ別館
- ・内 容 趣味婚再び!~共通の話題で盛り上がりよう~
- ・参加者 18名(内訳:男性10名 女性8名)

イ 第2回(出会いのイベント)

- ・日 時 令和5年2月26日(日)
- ・場 所 山辺ワイナリーレストランマリアージュ
- ・内 容 世代婚~同じ世代で盛り上がりよう~
- ・参加者 29名(内訳:男性15名 女性14名)

(9) 松本ブロック社会福祉協議会

ア 目的

松本ブロック内の3市5村（麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村、松本市、塩尻市、安曇野市）の社協の相互協力及び情報共有を図るための会議、研修等が開催されました。（※ 令和4年度幹事社協：塩尻市）

イ 会議

(ア) 事務局長会議	1回
(イ) 担当者連絡会議	2回
(ウ) ボランティア担当者会議	6回
(エ) 地域福祉と権利擁護担当者会議	1回
(オ) 介護保険事業者等担当者会議	2回

ウ 研修会・交流会

(ア) 社協職員研修会
2030SDGsカードゲームの体験

(イ) ボランティア交流集会
伊那市の事例発表とグループワークを実施しました。

エ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練時に、松本ブロック社協相互応援協定に基づき松本ブロック社協間の情報伝達訓練を行いました。

実施日 令和4年10月23日（日）

(10) 西部地区センター事業（地域福祉担当）

ア 高齢者サポーター養成講座

支援者の少ない西部地域での生活支援体制整備のため、「高齢者等を支える」ために必要な知識を学ぶ講座を下記のとおり開催しました。

(ア) 講座回数 6回

- ・ 7月21日 高齢者の心や体の変化
- ・ 8月25日 介護保険等呼応的な制度・高齢者を支える松本市の施策
- ・ 9月22日 地域住民が高齢者をどう支えるか（講演）
- ・ 10月27日 ボランティア活動の基本・社協の有償生活支援事業
- ・ 11月24日 高齢者と接する際の傾聴的聴き方
- ・ 12月22日 介護予防のための健康体操（実技）

(イ) 参加者 延べ212人

イ 西部エリア会議

西部地区センター所管の11地区において、地区担当と地区生活支援員が協働して担当地区の取組みに活かすために、高齢者の生活課題や現状を共有し情報交換をする場として会議を行いました。（開催 年10回）

ウ 見守り安心ネットワーク事業への取組み

多発する災害への備えとして、地域における見守り・助け合いを進めようとする町会・常会の希望に応じ、ささえあいマップの作成や小地域での話し合いに積極的に関わりました。（3町会 延べ26回）

エ 奈川地区見守り支援ネットワーク

人口の減少、少子・高齢化が進行する奈川地区において、住み慣れた地域で安心・安全に生きいきと暮らしていくことができるよう、民生児童委員が月に1回程度の訪問活動を行いました。

- (ア) 協 力 奈川地区民児協、奥原商店
- (イ) 実施期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日
- (ウ) 対象地域 奈川地区全域
- (エ) 該当世帯 24世帯（ひとり暮らし高齢者世帯、見守りが必要な世帯）
- (オ) 実施希望世帯 10世帯 10人
- (カ) 訪問実施回数 155回

(11) 四賀地区センター事業（地域福祉担当）

地域住民と関係機関とが連携を図り、住み慣れた四賀の地で、だれもが健康で支え合い、幸せに暮らすことのできる地域づくりをめざして事業を進めました。

ア 第17回四賀地区福祉の集い

「笑顔で暮らせるつながりの大切さ」をテーマに、少子高齢化が進む四賀地区で、安心安全に暮らすために何処へつなぎ、誰とつながれば良いかを介護保険部署の専門職員によるシンポジウム形式で開催しました。

- ・期 日 令和4年5月22日（土）
- ・場 所 市役所四賀支所ピナスホール
- ・参加者 180名（新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しての開催）

イ 2022特別演奏会「喜びまく音楽セラピーコンサート2022 in 松本」

日常生活のストレスによる自律神経の不調や心身症を改善し、免疫力を高め、感染症予防・健康増進・未病改善を図るための音楽療法演奏会を開催しました。

- ・期 日 令和4年10月22日（土）
- ・場 所 市役所四賀支所ピナスホール
- ・参加者 160名（新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しての開催）

ウ ボランティア感謝祭

四賀地区ボランティア会員のみなさんの日々の活動に感謝をし、年に1回、一同に会して親睦を深める機会として開催しました。例年の会食会を取り止め、お弁当の持ち帰りとしました。

- ・期 日 令和4年11月12日（土）
- ・場 所 市役所四賀支所ピナスホール
- ・参加者 80名

(12) 北部地区センター事業（地域福祉担当）

地域住民組織が主催する防災と福祉の事業について、企画及び実施の協力をしました。

ア 地区防災活動の推進

地区における防災研修の企画調整や、イベントの実行委員として運営に協力しました。

(ア) 炊き出し訓練及び避難所体験ゲーム（8月5日）

松本市赤十字奉仕団城東分団の研修の企画調整

(イ) 社協防災出前講座（10月16日）

城東地区岡の宮町会・岡の宮文園町会合同防災訓練において実施

(ウ) 城東地区ふれあい防災まつり（10月23日）

実行委員として企画・運営に参画

イ 地区における広報活動の推進

城東地区広報部会の編集委員として、令和4年度から統合された「地区社協だより」「公民館だより」「福祉ひろばだより」の企画・編集に参画しました。

(ア) 編集会議 毎月4回

(イ) 先進地視察研修 8月25日・大町市美麻地域づくり会議を視察

ウ 見守り活動の推進

(ア) 「折り紙を添えた手紙プロジェクト」（東部地区主催）

一人暮らしや老々世帯等に対し、民生委員・児童委員が折り紙を添えた手紙を持参して訪問し、安否確認を行う企画について提案・実施協力をしました。

エ 城東地区民生委員児童委員協議会研修の企画・参加

(ア) 日本赤十字社長野県支部視察（7月8日）

(イ) 赤十字救急法基礎講習会（9月29日）

❖ ボランティアセンター活動の推進

ボランティア活動の必要性や役割、地域や関係機関との連携・協力体制等を整理した「松本市ボランティア事業運営方針」に基づきボランティア活動推進に取り組んだほか、各地区センターと情報共有できるボランティア登録者データを活用し、ボランティアの需給調整を行い、活動の活性化に取り組みました

特にコロナ禍により活動が停滞していた施設ボランティア、芸能ボランティア、傾聴ボランティアの需給調整業務を徐々に再開し、ボランティア関連講座についても感染防止対策を講じたうえで対面での開催を実施しました。また、つむぎちゃん劇団、炊き出しキャラバン隊の活動をはじめ、新たなボランティア活動を立ち上げました。

(1) 活動基盤整備事業

ア 拠点機能の活用

(ア) 総合社会福祉センター「ボランティアセンター」での受付相談

(イ) 北部福祉複合施設「ボランティアルーム」の活用

開設日数	359日 (359日)	()内は前年度
利用団体件数	97件 (65件)	
利用人数	959人 (917人)	

イ 調査・研究活動の推進

(ア) ボランティアグループ数・活動者数調査（令和5年3月31日現在）

項 目		把握している数	登録している数
個人ボランティア	人数 (A)	156人	61人
団 体	①ボランティア活動を主目的としている団体	団体数 (B)	193団体
		所属人数 (C)	3,114人
	②ボランティア活動を主目的としない団体	団体数 (D)	117団体
		所属人数 (E)	3,080人
人 数	人数合計(C+E)	6,194人	1,666人
合 計	団体数 (B+D)	310団体	182団体
	人数(A+C+E)	6,350人	1,727人

(イ) 登録しているグループ及び活動者の主な活動分野

- ①高齢者の福祉活動
- ②障害者の福祉活動
- ③子育て(乳幼児)に関する活動
- ④青少年(児童)の健全育成に関する活動
- ⑤健康や医療に関する活動
- ⑥教育、文化、スポーツ振興
- ⑦地域の美化・環境保全に関する活動
- ⑧災害時のボランティア活動
- ⑨防災、防犯、交通安全などの活動
- ⑩人権擁護に関する活動
- ⑪国際交流・国際協力に関する活動
- ⑫まちづくりなどに関する活動

ウ ボランティア活動保険等の受付件数 (単位：件)

内 容	本所	四賀	安曇	奈川	梓川	波田	北部	計
ボランティア活動保険	347	38	3	1	27	35	49	500
行事用、送迎、福祉サービス保険	124	8	0	1	1	0	18	152
合 計	471	46	3	2	28	35	67	652
事 故 報 告	10	0	0	0	0	0	0	10

エ ボランティアの相談、需給調整件数 (単位：件)

内 容	ボランティアセンター	四賀	安曇	奈川	梓川	波田	計
ボランティア活動希望(相談)	70	36	0	1	103	32	242
ボランティアのニーズ	(演芸等) 50	20	1	0	0	0	84
	(傾聴) 13						
合 計	133	56	1	1	103	32	326

(2) 啓発・広報・情報提供

- ア 社協まつもと「つむぎちゃん通信」、社協ホームページ・ブログ・Twitter・YouTube を活用し、ボランティア情報を随時更新
- イ メディア、掲示板活用
- ウ 市民活動サポートセンターホームページへの情報提供

(3) ボランティア養成・研修事業

ア ボランティア養成講座

(ア) 出前講座の開催

- ・ボランティア講座 3回開催 参加者 113人
- ・老後の生き方・暮らし方のデザイン 3回開催 参加者 82人
- ・災害時や災害に備えて 14回開催 参加者 296人
- ・傾聴ボランティア講座 4回開催 参加者 94人
- ・回想法(懐かし写真) 4回開催 参加者 92人

(イ) 【四賀地区】いきいきサロン・えんがわ隊・ささえあい事業・農場農園作業・園芸講座等 参加者延べ780人

(ウ) 【安曇地区】園芸療法ボランティア(2回) 参加者延べ 20人

(エ) 【奈川地区】ふれあい会食会・配食サービス〈安否確認〉・花いっぱい事業 参加者延べ119人

(オ) 【梓川地区】送迎ボランティア

利用者13人 ボランティア7人 送迎回数 104回

(カ) 【波田地区】ボランティア研修(3回) 参加者延べ 59人

(4) 災害ボランティアセンター設置運営訓練

大規模地震により甚大な被害が発生したとの想定により、令和4年度長野県総合防災訓練（令和4年度松本市総合防災訓練）において災害ボランティアセンターの設置と運営の実地訓練を実施しました。市内4ライオンズクラブ及び松本青年会議所との「災害ボランティアセンター支援に関する協定」に基づき、両団体の会員も訓練に参加し、運営の流れを体験したほか、資機材の受入れ・搬出訓練を実施しました。

ア 期 日	令和4年10月23日（日）
イ 訓練会場	あずさ会館
ウ 訓練時間	9時～13時
エ 参加者	ライオンズクラブ会員 10人 （松本、松本深志、松本アルプス、松本中央） 青年会議所会員 4人 島内地区住民 18人 松本市赤十字奉仕団 11人 その他関係職員 4人 社協職員 35人 合計82人
オ 訓練項目	オリエンテーション、ボランティアの受入れ・需給調整、資機材支援受入れ、市内4ライオンズクラブ及び松本青年会議所との情報伝達訓練等

(5) 福祉教育の推進

ア 社会福祉普及校事業

児童生徒等が福祉体験を通して、社会福祉の理解と関心を高め、日常生活を通じて相互扶助と思いやりの心を育てることを目的に、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校へ補助金を交付しました。また、活動の参考となるよう各校の報告をまとめた事例集を全学校へ配布しました。

(ア) 補助金交付校数・事業件数

小学校	16校・39件
中学校	15校・35件
小中学校	1校・4件
高等学校	4校・8件
特別支援学校	4校・11件
計	40校・97件

(イ) 補助金額

1校 1万円上限（ただし、盲学校は2万円上限）

(ウ) 普及校連絡会議の開催

福祉教育の意義、体験学習の内容、事務手続き等について説明
令和4年6月6日 36校参加

イ 福祉教育出前講座の実施

(附属資料 8)

小・中・高等学校や児童センター等において、ユニバーサルデザインの説明や高齢・障害の疑似体験などを行う出前講座を行いました。

実施件数

小学校	6件
中学校	6件
高等学校	4件
児童センター	15件
その他	4件
計	35件

(6) エコキャップ運動の推進

「エコキャップ運動」とは、ペットボトルキャップを集めて、リサイクル業者に引き取ってもらい、その代金をユニセフを通じてポリオワクチン等に代えて開発途上国で暮らす子どもたちに送るもので、本会では平成20年6月から活動を開始しました。

ア リサイクル業者に収めたキャップの総重量

令和4年度 5,030kg (ポリオワクチン2,515人分)

(約1kgあたり10円、ポリオワクチン1人分20円で換算)

イ 協力団体等

小・中学校、病院、企業、民生委員・児童委員協議会、福祉ひろば、

地区社協、町会、福祉施設、児童館、地域づくりセンター、公民館、個人等

ウ 平成30年度から松本深志ライオンズクラブにリサイクル業者への運搬を協力いただいています。

(7) ボランティア養成講座

「傾聴ボランティア養成講座」、「災害ボランティア養成講座」の実施

ア 趣旨

見守りや高齢者支援として大きな役割のある傾聴ボランティアを養成するとともに、災害ボランティアや災害ボランティアセンターについて知ってもらい、有事の際に地域を支える災害ボランティアを養成することを目的とした講座を開催しました。

イ 内容

日時 令和5年3月16日(木) 10:00~16:00

会場 松本市総合社会福祉センター4階 大会議室

講師 内山 二郎氏 / 社協職員

ウ 参加者 36人

(8) ボランティアがんばろうの集い

ア 趣 旨

コロナ禍においても、様々な工夫をしながら活動を再開したボランティア活動者への労いと、これを機にまた頑張ろうという気持ちになっていただくことを目的とした集いを開催しました。

イ 日 時 令和4年12月23日(金) 10:30~12:00

ウ 会 場 松本市総合社会福祉センター4階 大会議室

エ 参加者 61人

オ 内 容

ミニコンサート(楽団ケ・セラ)、落語寄席(和泉家志ん治師匠)

(9) 被災地復興活動講座「地域ささえあい市民セミナー」

ア 趣 旨

毎年のように自然災害が発生しており、災害時の避難や復興に地域住民の日頃からのささえあいが重要視されている中、見守り安心ネットワークの構築、安心・安全なまちづくりの仕組みの構築を目指すための市民セミナーを開催しました。

イ 日 時 令和5年2月24日(金) 13:30~16:30

ウ 場 所 松本市総合社会福祉センター4階 大会議室

エ 内 容(講演)

(ア)「高めよ 防災力」~その時に備えて

松本市危機管理課

(イ) 災害時に支援を必要とする方への対応について

松本市福祉政策課

(ウ) 身近で見守り・ささえあい~見守り安心ネットワークについて~

松本市社会福祉協議会 地域福祉課

(エ) ささえあいマップの作成から見えてきたもの

島立三の宮町会 町会長 浅野 尚久氏

松本市社会福祉協議会 西部地区センター

(10) 松本市ボランティア交流集会

ア 趣 旨

松本市内でボランティア活動・地域活動に携わる方や関心のある方が一堂に会し、活動発表などを通じてボランティア同士が知り合い、情報交換を行う場を提供することを目的とした交流会を開催しました。

イ 日 時 令和4年8月11日(木) 10:00~12:30

ウ 会 場 松本市総合社会福祉センター4階 大会議室

エ 参加者 72人

オ 内 容

(ア) オープニングイベント「書道パフォーマンス」※Cafe ポリジ前芝生広場
~松本蟻ヶ崎高校書道部~

(イ) ステージ発表

- ・MAB (ギター・ドラム・ピアノ・サクソ)
- ・中信レクリエーション協会
- ・ごうだこうぞう&松本プルメリア (ハワイアンスチールギター・フラダンス)
- ・Duo Lyra (ヴァイオリン、ピアノ)

(ウ) 炊き出しキャラバン隊お披露目 (炊き込みご飯、蒸しパン)

(11) 新規事業

ア 社協つむぎちゃん劇団

本所及び四賀地区で結成したボランティア劇団が、「電話でお金詐欺被害防止」の啓発をする寸劇を、各地区・町会で公演しました。

(ア) 劇団員数 本所：13人、四賀地区：6人

(イ) 練習回数 本所：19回、四賀地区：8回

(ウ) 公演回数 本所：16回、四賀地区：13回

(エ) 第22回総合社会福祉センターふれあいまつりで公演

イ 炊き出しキャラバン隊

地域に出張し、炊き出しを通じて子どもや高齢者等への食事支援、地域交流のきっかけづくり、防災・減災の意識啓発などを目的に、ボランティアを募り「炊き出しキャラバン隊」を結成して、地区・町会で活動しました。

(ア) 隊員数 50人

(イ) 活動件数 7件

(ウ) 食品衛生研修実施

・日時 令和4年5月17日(火) 14時から

・内容 炊き出し研修、衛生研修

・場所 松本市総合社会福祉センター 4階 大会議室

❖ 福祉啓発活動

(1) 令和4年度松本市社会福祉大会の開催

新型コロナウイルス感染拡大の影響により昨年度に引き続き規模を縮小し、表彰式典とパネルディスカッションを開催しました。併せて松本市社会福祉協議会創立70周年記念表彰を行いました。

ア 日時 令和4年10月20日(木) 13:30~16:00

イ 会場 松本市音楽文化ホール 小ホール

ウ 参加者 約80人

エ 大会内容

(ア) 松本市社会福祉大会表彰

- ・社会福祉事業特別功労者 13名 6団体
- ・共同募金模範協力者 9名 計22名 6団体

(イ) 松本市社会福祉協議会創立70周年記念表彰

- ・小中学生作文の部 9名
- ・70歳メッセージの部 3名 計12名

(ウ) パネルディスカッション

テーマ 「世代をつなぐ『しあわせのまちづくり』」

コーディネーター 尻無浜 博幸氏(松本大学総合経営学部長/教授)

パネリスト

山岸 勝子氏(四賀地区社会福祉協議会会長)

白澤 幸男氏(松南地区公民館長)

百瀬 司郎氏(朝日村教育委員会教育長)

小松 莉奈氏(松本大学総合経営学部 観光ホスピタリティ学科3年生)

(2) 広報及び情報活動の推進

ア 広報紙「つむぎちゃん通信(社協まつもと)」を発行

年3回(10月1日、1月1日、4月1日)

10月1日号は、特別号として2ページ増量し、赤い羽根共同募金を特集

イ 社協ホームページ、ブログ、Twitter、YouTubeでの情報発信

❖ 高齢者福祉事業

高齢者が、いつまでも色あせることなく輝き続けながら、より充実した豊かな生活を送れるよう支援するため、プラチナ大学の開校及び生きがい講座等を開催しました。なお、プラチナセンター利用において、新型コロナウイルス感染防止対策による、時間、人数及び飲食の制限はなくなりましたが、高齢者福祉施設であるため、マスク着用を推奨し、基本感染対策は継続しました。

(1) 松本市プラチナ大学

ア 趣 旨

プラチナ世代の皆さんの生活がより充実し、豊かなものとなるよう、積極的に“自らを磨き高め、よき友を得て、地域社会に貢献する”ことを目標に、多くの仲間とともに学べる機会として開校しました。

イ 概 要

(ア) 入学式等 入学式 令和4年5月11日 卒業式 令和5年2月15日

(イ) 講座概要 18日間／30講座等／31単位

(ウ) 講座内容 「松本らしさに触れる」「松本を学ぶ」「情報・教養を得る」「豊かな生活に資する」等をテーマとした講座を行いました。

(エ) 年度別入学者及び卒業生数・卒業率 (単位：人)

卒業年度	入学生			聴講生			学生総数			卒業生数			卒業率 (%)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
4	22	42	64	-	-	-	22	42	64	13	35	48	75.0
3	20	46	66	-	-	-	20	46	66	16	37	53	80.3
元	28	48	76	-	-	-	28	48	76	23	41	64	84.2

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、1年間休校

※聴講生制度…本校の卒業生が、再度聴講できる制度。平成30年度、令和元年度は会場の都合により、令和3・4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により募集しませんでした。

(2) 生きがい講座

高齢者の皆さんが新しい仲間と出会い、楽しみながら生きがいを感じられる機会としての講座を実施しました。

ア 講座概要

講座名	実施回数／期間	受講者／定員
健身気功	全3回／9月～10月	15人／15人
植物寄せ植え	全3回／10月	14人／10人
籐の籠づくり	全3回／10月	8人／10人
筆ペン習字	全4回／10月～1月	19人／15人
籐の籠づくりⅡ	全3回／11月	8人／10人
陶芸	全6回／11月～2月	0人／10人
健康体操	全8回／12月～2月	10人／20人
歌で健康力UP	全3回／12月～1月	15人／15人
計		89人／105人

イ 年度別受講者数

年 度	講座数	延べ日数	受 講 者 数			備 考
			男	女	計	
4	8 講座	33 日	8 人	81 人	89 人	2 段階で募集・開講
3	8 講座	30 日	10 人	92 人	102 人	//
2	9 講座	32 日	24 人	87 人	111 人	//

(3) 福祉団体の活動支援

ア 高齢者サークル活動支援

本センターを拠点として活動しているサークルに対して、運営上の相談や、会場調整等の支援を行いました。また、単に施設の利用だけにとどまることなく、利用者自らがサークルの垣根を越えて交流する目的で組織された「プラチナセンター利用者の会」の事務局として資料作成等の支援をしました。

(ア) サークルの概要

- ・プラチナセンターの登録サークル数 26 団体
- ・サークルの会員数 男性79名 女性142名 計221名
- ・文化・芸術、健康づくりや趣味等、各分野のサークルごとに活発に活動

(イ) 「プラチナセンター利用者の会」の主な活動（令和4年度実績）

- ・ 6月 軽井沢町保険福祉総合施設「木もれ陽の里」視察研修
- ・ 10月 プラチナセンター文化祭（高齢者クラブ作品展と共催）
- ・ 11月 奉仕活動として総合社会福祉センター周辺の環境美化清掃
- ・ 3月 親睦交流会

※昨年度に引き続き、市民囲碁大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

イ 高齢者クラブ連合会の運営支援

高齢者クラブ連合会の事務局として運営を支援し、同会が実施した事業に協力しました。

(ア) 高齢者クラブ数・会員数

9地区 33クラブ 1,558人

(イ) 主な活動（令和4年度実績）

- ・ 7月 「まつもと市高連だより第31号」発行
- ・ 8月 第58回松本市高齢者クラブ大会
- ・ 9月 第62回高齢者ゲートボール・ペタンク大会
- ・ 10月 高齢者作品展（プラチナセンター文化祭と共催）
- ・ 11月 第20回高齢者健康大会

(4) 福祉入浴事業（プラチナセンター内の浴場）

ア 開場日時 毎週月・木曜日 12:00～16:00 年間89日

イ 利用者数 延べ 1,951人 1日平均 21.9人

❖ 児童福祉事業

松本市から児童センター18施設の指定管理と放課後児童クラブ2施設の受託により、計20施設の指定管理者及び委託管理者としての管理運営を行っています。

特に保護者や子どもにとって安心・安全な居場所となるように、消毒や換気等新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しました。

また、子どもに適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全育成を図るとともに、安心・安全に過ごすことができるよう最大限の配慮を行いながら、遊びを通じた仲間関係の中で自主的な活動を援助し、社会性や豊かな人間性が育まれるように努めました。さらに、本会が運営を行う児童福祉業務の課題をまとめ、市担当部と意見交換を行うなど、本会の役割の再認識と課題解決に向けた提案を行い、児童センター職員と地域福祉の地区担当職員、地区生活支援員が共同で地域福祉活動を行いました。

(1) 実施事業

ア 放課後児童健全育成事業

就労等の理由により保護者が昼間家庭にいない世帯の小学児童を対象に、登録制により遊びや生活の場を提供しました。

(ア) 開設日 月曜日～金曜日 12:30～19:00

学校休業日 8:30～19:00

(イ) 開設場所 児童センター16か所、放課後児童クラブ2か所

イ 一時預かり事業

保護者が冠婚葬祭等の理由で子どもが見られない場合の一時的な預かりをしました。

ウ つどいの広場事業

未就園児を持つ親子を主な対象者として、気軽に集い交流する場を提供し、子育てに関わる相談や情報提供等を実施しました。

(ア) 開設日 月曜日～金曜日 9:00～14:00 (芳川:9:00～17:00)

(イ) 開設場所 あがた・南部・鎌田・芳川・島立・寿・山辺・浅間・今井・梓川・菅野・二子・田川・高宮の各児童センター及び四賀支所

エ 休日つどいの広場事業

(ア) 開設日 月1回 日曜日 9:00～14:00

(イ) 開設場所 芳川児童センターつどいの広場

オ 地域との連携

地域からの支援を受け入れるとともに、児童による地域貢献活動を実施しました。

(ア) 地域の方を講師にお迎えして、折り紙、マジック、菊づくりなどを教えていただき、皆で楽しみました。

(イ) 児童が福祉ひろばを訪問して、手づくりの工作やメッセージをお届けしたり、合唱を披露したりする活動を実施しました。

カ 子どもと高齢者のかかわり事業

しめ縄づくり、まゆ玉づくりなどの伝統行事や囲碁・将棋、絵手紙、eスポーツなどの活動を通して相互の交流を深めました。

キ 体力増進指導

児童の発達段階に応じた体力増進に有効な遊びの指導を実施しました。
(年52回)

ク 保護者の子育て支援活動

児童の発達上の課題等についての相談を実施しました。

ケ 地域組織活動の育成助長

地域活動クラブ（児童センター利用児童と保護者を中心とした地域単位の活動組織）の育成助長及びその指導者の養成を行いました。

コ 自主事業の実施

こども運営委員会こども企画事業、福祉・ボランティア体験事業、ウォーキング事業、学習支援事業を行いました。

サ 青少年の居場所

あがた児童センターに中高生の専用室を設置しました。(学習室、集会室、交流スペース)

月曜日～金曜日 12:30～18:30

土曜日及び学校休校日 8:30～18:30

(ただし、祝日と年末年始は除く)

シ 自然とのふれあい事業

国営アルプスあずみの公園での散策や体験活動、上高地での自然観察など豊かな自然環境の中で、児童の創造性や協調性を養いました。

(2) 利用者の範囲

ア 児童センター 市内に居住するすべての児童(18歳未満の者)

イ つどいの広場 未就園の乳幼児及びその保護者

(3) 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、松本市の基準によって1館を除いた全館で延べ55回(128日)の休館措置を取りました。松本市からの要請により、一斉に休館することはありませんでした。

(4) 児童センターの整備に関する要望

本会の衛生委員会が行う施設安全パトロールにおける点検結果をもとに、松本市に対して、地元要望等も踏まえた和式トイレの洋式化、遊戯室の熱中症対策、狭隘化の解消など児童センター施設の改善に関する要望を行いました。

(5) 令和4年度利用実績		() 内は3年度
ア 児童センター・放課後児童クラブ	20施設	
・開館日数	293日	(293日)
・延べ利用者数	340,097人	(353,375人)
・1館あたり平均利用者数	59人/日	(60人/日)
イ つどいの広場	15施設	
・開館日数	242日	(219日)
・延べ利用者数	55,135人	(58,165人)
・1館あたり平均利用者数	15人/日	(18人/日)
ウ 青少年の居場所(あがた児童センター)	1施設	
・開館日数	291日	(247日)
・延べ利用者数	456人	(312人)
・1日平均利用者数	1.6人/日	(1.3人/日)

❖ 子どもと高齢者の交流事業

本会が運営しているプラチナセンター及び南部児童センターにおいて、互いの活動に参加し、日頃の練習の成果を披露して交流を深めるなど、世代間交流の事業に着手しました。

(活動実績)

- ・児童センターのクリスマス会等にプラチナセンター利用者が参加し、歌やマジックで交流
- ・プラチナセンターのサークル活動(将棋、歌)に児童が参加

児童センター・放課後児童クラブ利用状況一覧表

(単位：人)

館名	つどいの広場		児童センター・放課後児童クラブ					児童合計 (つどい幼児を含む)	その他 (つどい除く)	総合計
			一般利用				留守登録 (小学生)			
	保護者	幼児	幼児	小学生	中学生	高校生				
あがた児童センター	2,664	3,167	95	558	93	363	25,108	29,384	390	32,438
島内児童センター	—	—	24	141	145	0	27,011	27,321	204	27,525
芳川児童センター	4,727	5,499	1	17	0	2	23,969	29,488	2	34,217
南部児童センター	1,749	2,021	14	158	13	0	5,134	7,340	176	9,265
菅野児童センター	721	855	2	232	9	0	18,180	19,278	1	20,000
島立児童センター	1,762	2,105	11	163	4	9	11,192	13,484	224	15,470
寿児童センター	2,125	2,560	22	6,141	2	0	—	8,725	66	10,916
寿放課後児童クラブ	—	—	4	4	—	—	20,696	20,704	82	20,786
二子児童センター	997	1,034	36	492	2	0	6,828	8,392	70	9,459
鎌田児童センター	1,860	2,040	21	312	25	1	29,372	31,771	79	33,710
山辺児童センター	1,477	1,944	276	1,240	49	3	—	3,512	862	5,851
山辺放課後児童クラブ	—	—	—	—	—	—	24,620	24,620	0	24,620
浅間児童センター	1,695	1,908	85	1,229	3	0	13,633	16,858	136	18,689
今井児童センター	702	987	57	218	1	0	9,814	11,077	293	12,072
田川児童センター	1,030	1,271	42	365	105	7	9,457	11,247	259	12,536
高宮児童センター	2,768	3,303	5	40	1	6	9,629	12,984	8	15,760
梓川児童センター	544	679	17	146	75	55	29,331	30,303	325	31,172
並柳児童センター	—	—	33	142	55	4	11,110	11,344	284	11,628
筑摩児童センター	—	—	31	26	25	0	12,865	12,947	709	13,656
波田児童センター	—	—	67	174	17	0	30,504	30,762	518	31,280
四賀支所(つどい)	431	510	—	—	—	—	—	510	—	941
合計	25,252	29,883	843	11,798	624	450	318,453	362,051	4,688	391,991
令和3年度	27,080	31,085	555	9,911	667	320	334,542	377,080	4,181	408,341
令和2年度	28,189	32,586	1,462	11,648	744	310	307,841	354,591	7,339	390,119

3 暮らしの支援と権利擁護

❖ 生活支援体制整備事業

地域包括ケアシステムの柱の一つとして位置づけられた生活支援体制整備事業を推進するため、市から第2層生活支援コーディネーター（地区生活支援員）業務を市から受託し、令和元年度から地区生活支援員を順次配置してきました。4年度は11地区に配置したことで全地区への配置となり、生活支援サービスの仕組みづくりに取り組んできました。

また、町会サロンや健康講座等、集いの場づくりを支援するとともに地域における課題や人材の把握に努め、安心マップづくり、ボランティア組織の立ち上げなど住民互助の基盤づくりを支援しました。（附属資料 9）

地区生活支援員の設置状況

令和4年度	11地区（第一、東部、安原、城東、田川、鎌田、新村、神林、入山辺、安曇、奈川）
3年度	8地区（第三、島内、中山、島立、芳川、岡田、今井、内田）
2年度	9地区（城北、白板、庄内、松南、松原、和田、笹賀、寿、本郷）
元年度	7地区（第二、中央、寿台、里山辺、四賀、梓川、波田）

❖ 地域包括支援センター事業

介護保険法による包括的支援事業を行う3事業所を市から受託し、保健師等・社会福祉士・主任介護支援専門員の専門職を配置し、介護予防マネジメント、総合相談、包括的・継続的マネジメント業務について新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで実施しました。

（1）予防給付・介護予防のケアマネジメント業務

要支援者における介護予防プラン作成及びサービス利用評価等の実施、一般介護予防対象者に対する介護予防教室の開催及び参加へのアプローチ、介護予防の啓発に加え、公的なサービス、インフォーマルサービスも取り入れた個々に適した自立支援型個別ケアプラン作成の実施、促進、啓発

（2）総合相談業務

ア 相談事業がスムーズに展開するように、広報活動を中心に地域包括支援センターの周知に努め、ケアマネジャー、民生委員、その他関係機関や問題を抱える方からの直接的な相談に対応し、問題が複雑に絡む困難ケース等には関係課と連携して対応

イ 介護認定相談、介護相談、ケアマネ支援、福祉制度、福祉サービス、虐待、権利擁護、医療、施設入所、苦情、実態把握、見守り等、多岐にわたる生活全般の相談に対応

ウ 認知症高齢者、一人暮らし高齢者、老々世帯の実態把握と相談及び他機関へつなげる等の支援を実施、特に認知症高齢者の相談支援体制の充実、認知症サポーター養成講座の開催、物忘れ相談会、認知症カフェの開設、運営維持支援等を実施

(3) 権利擁護業務

- ア 高齢者虐待に対応するため関係機関との対策会議等を開催
- イ 成年後見支援センターと連携をとりながら成年後見制度の一次相談機関として対応

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ア ケアマネジャー勉強会、相談会、多職種連携会議を開催
- イ 地区事業や行事へ参加し、地域の中でのケアマネジャーの活動を支援

(5) 地域包括ケアシステムの構築（第1層生活支援コーディネーター業務）

- ア 困難事例等の支援を通じた地域課題の発見、地域のネットワークづくりの構築を目指し、各地区で地域ケア会議を開催
- イ 地区生活支援員と協働し、地域の担い手発掘のための啓発活動を実施

(6) 会議及び研修等

包括センター長会、同職種連絡会、地域包括ケア協議会、多職種連携会議、地域支援事業関係研修、権利擁護関係研修、制度改正に伴う研修などオンラインを活用し各種会議・研修会等に参加

(7) 活動実績

ア 南部地域包括支援センター

単位：件

年度	相談件数		介護予防ケアマネジメント関係		給付管理関係			認知症関係		地域包括ケアシステム関係	権利擁護関係	研修	会議
	新規	継続	新規	継続	直営	委託	合計	地区活動	対応件数				
4	1,066	2,574	278	1,242	163	2,928	3,091	52	191	306	126	55	123
3	839	2,470	162	1,011	217	2,720	2,937	22	182	250	55	116	197
2	902	2,581	151	1,160	221	2,947	3,160	23	195	245	107	31	153

イ 南西部地域包括支援センター

単位：件

年度	相談件数		介護予防ケアマネジメント関係		給付管理関係			認知症関係		地域包括ケアシステム関係	権利擁護関係	研修	会議
	新規	継続	新規	継続	直営	委託	合計	地区活動	対応件数				
4	364	1,682	183	1,220	475	2,963	3,438	36	161	336	112	78	135
3	400	1,890	215	1,665	503	3,009	3,512	53	195	326	127	62	133
2	302	1,554	169	1,947	577	2,913	3,490	43	50	289	99	34	153

ウ 西部地域包括支援センター

単位：件

年度	相談件数		介護予防ケアマネジメント関係		給付管理関係			認知症関係		地域包括ケアシステム関係	権利擁護関係	研修	会議
	新規	継続	新規	継続	直営	委託	合計	地区活動	対応件数				
4	541	2,152	139	1,073	341	2,739	3,080	34	102	355	56	87	129
3	391	1,861	110	1,022	350	2,870	3,220	88	227	353	160	76	153
2	495	2,032	128	1,215	633	2,481	3,114	69	384	375	108	46	153

❖ 自立支援事業

(1) 日常生活自立支援事業 (附属資料 10)

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者の方で、判断能力が不十分な人が、住み慣れた地域や自宅において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき福祉サービスの利用援助等を行いました。

実利用者数	137名(令和5年3月31日現在)
延べ支援回数	3,412回

(2) 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

失業、災害等により一時的に収入が減少した方や、療養・転居・就学等により一時的に費用が必要になった方に対して相談を行い資金の貸付を行いました。

令和4年度新規貸付	8件	2,120,000円
-----------	----	------------

(3) 暮らしの資金貸付事業

低所得世帯に対し、緊急かつ一時的な理由による生活費の不足を補うため、1件3万円以内の資金貸付を行いました。

ア 貸付状況

令和4年度新規貸付	3件	50,000円
貸付残高(令和5年3月31日現在)	65件	1,034,000円

イ 欠損処分

償還対策を行った結果、消滅時効期間(10年)を経過し、償還不能となった債務者を償還金支払い免除者とし、滞納額の欠損処分を実施しました。

(ア) 免除件数・金額

免除件数	72件	免除金額	2,338,000円
------	-----	------	------------

(イ) 免除者の内訳

区 分	免除件数	免除金額
借受人及び保証人が死亡または行方不明	22件	557,500円
借受人が死亡、行方不明、転出、電話不通	30件	872,000円
借受人が施設入所、生活保護受給	6件	203,000円
消滅時効期間経過者	14件	705,500円

(4) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う生活福祉資金の特例貸付(県社協受託事業)

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、休業等による収入の減少や職を失い生活に困窮している世帯に対し、緊急かつ一時的な生活維持のための資金として、緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付の相談、受付を実施しました。

(令和4年9月末受付終了)

なお、令和5年1月から一部の貸付けについて償還が始まりました。(県社協対応)

ア 通算の貸付件数・金額

(特例貸付開始から終了まで：令和2年3月25日～令和4年9月30日)

資金の種類	貸付件数	貸付額
緊急小口資金	2,196 件	380,590 千円
総合支援資金（初回）	2,102 件	1,086,802 千円
総合支援資金（延長）※R3.6.30 終了	484 件	220,557 千円
総合支援資金（再貸付）※R3.12.31 終了	720 件	382,150 千円
合 計	5,502 件	2,070,099 千円

イ 令和4年度中の貸付（上記件数・金額の内数）

資金の種類	貸付件数	貸付額
緊急小口資金	283 件	56,200 千円
総合支援資金（初回）	309 件	166,050 千円
合 計	592 件	222,250 千円

❖ 生活就労支援センター事業（まいさぽ松本）

生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業を市から受託し、生活困窮者の自立に向けた支援を行いました。

市役所市民相談課内に事務所を置き、「一般」「専門」「消費生活」「生活困窮」の各相談窓口を一元化した「市民生活総合相談窓口」の一翼を担い、関係課との連携を深め相談者の利便性に配慮した相談事業所運営に取り組みました。併せて受託する家計改善支援事業では相談者の家計状況を明らかにしながら自立を促進しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、令和2年度から相談・対応件数ともに高止まりの状態が続いていましたが、令和4年度は、年度途中の生活福祉資金特例貸付及び生活困窮者自立支援金の終了に伴い減少しました。離職した方、収入が減少し生活に困窮する方を対象とした住居確保給付金に関する相談、申請件数は令和3年度と比較すると減少しましたが、コロナ前と比べると多い状況が続きました。また、生活福祉資金特例貸付等の終了により、家計改善支援事業の相談件数が増加しました。

(1) 相談及び対応

ア 延べ相談人数 2,444名（令和3年度 4,030名）

イ 延べ対応回数 7,400回（令和3年度 9,369回）

(2) 支援調整会議

市及びハローワークと支援内容を調整し、支援計画が適切なものであるか確認を行いました。

毎月第3水曜日を基本とし、全12回開催

(3) 住居確保給付金の窓口業務

住居確保給付金に関する相談・受付業務、受給中の面接等の業務を行いました。

44名利用【申請30名 再支給14名】

（令和3年度 73名 令和2年度 180名）

(4) 家計改善支援事業

相談者の家計状況を「見える化」し、相談者自身の家計管理の意欲を高めることで自立促進を図りました。

24名利用（令和3年度 15名）

❖ 成年後見支援センター事業

（附属資料 11）

成年後見制度利用促進法における中核機関業務を令和3年度から一部受託し、専門的な二次相談への対応、市民後見人の養成などの担い手育成のほか、法人後見の受任などを通じて、地域住民の権利擁護に取り組みました。

(1) 事業対象地域（事業参加市村）

松本市、安曇野市、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村（2市5村）

(2) 実施事業

ア 行政、地域包括支援センター及び障害者総合相談支援センター等の担当からの二次相談への対応

相談件数 390件（延べ401人）

イ 研修会の開催等

（ア）行政、福祉関係者、団体等からの依頼による研修会、視察等への対応
114回

（イ）市村内部調整会議等へのセンター職員の参加 68回

ウ 「成年後見人等のつどい」の開催

成年後見人等の担い手支援及び制度の周知啓発を目的として開催しました。

（ア）日 時 令和4年12月4日（日）13：30～16：00

（イ）講 師 古川静男 司法書士

（ウ）内 容 講演「成年後見制度を理解する」、個別相談

（エ）参加者 43名 うち個別相談3件5名

エ 法人後見等の受任

（ア）令和4年度中に審判が確定した件数 6件（うち市村長申立4件）

（イ）平成23年度からの累計件数 197件

（ウ）令和3年度までに終了した件数 110件

（エ）令和4年度中に終了した件数 14件

（オ）令和4年度末の受任件数 73件

（内訳）

後見類型（判断能力がほとんどない人）

松本市34件、安曇野市15件、生坂村1件、山形村3件、
その他2件 計55件

保佐類型（判断能力が著しく不十分な人）

松本市8件、安曇野市3件、山形村3件、朝日村1件、
その他2件 計17件

補助類型（判断の力が不十分な人）

松本市1件

(カ) 令和4年度中に行った成年被後見人等への支援回数 9, 510回

(内容) 訪 問 359回、財産管理 4, 439回

身上監護※ 3, 726回、打合せ他 986回

※身上監護：介護・福祉サービスの利用、医療・福祉施設の入退所手続き、費用の支払いなど、日常生活に関わってくる契約などを支援すること。

オ 法人後見業務監査の実施

6月6日に令和3年度法人後見受任案件全96件（終了案件も含む）について業務執行状況及び財産管理状況の監査を受け、いずれも適正であることが認められました。

カ 市民後見人養成事業の実施

(ア) 令和4年度末の養成状況

- ・市民後見人材バンク登録者※ 17人

※バンク登録者：当会が開催する養成講座をすべて修了後、選考によりバンク登録をした者。今後の選任に備え、さらに専門性を高めるため研修等を受ける者。また、市民後見人選任後も当会の監督的指導を受ける者

- ・市民後見人候補者名簿登録者※ 17人

※名簿登録者：バンク登録後、研修を重ね専門性を高めたあと、後見人等候補者として家庭裁判所に名簿を登録した者

- ・選任された市民後見人

単独での受任 6人

複数での受任 2人

- ・市民後見人に対する支援回数 148回

(イ) 市民後見人材バンク登録者 フォローアップ研修の実施 4回

- ・第1回 「市民後見人の理想像」「事例検討」
- ・第2回 「家庭裁判所への事務報告の実務」
- ・第3回 「後見業務における家庭裁判所との関わり方」
「家庭裁判所が期待する市民後見人像」
- ・第4回 「対人援助研修」

～認知症高齢者、知的障害者、精神障害者への関わり方～

(ウ) 市民後見人材バンク登録者の実習

市民後見人材バンク登録者を法人後見支援員として任用し、年間を通じた法人後見業務の支援活動を実務実習に充てました。

キ 「松安筑成年後見ネットワーク協議会※」の開催 2回

※協議会：後見等開始の前後を問わず、「チーム」に対し法律・福祉の専門職団体や関係機関が必要な支援を行えるよう、各地域において、専門職団体や関係機関が連携体制を強化し、各専門職団体や各関係機関が自発的に協力する体制づくりを進める合議体

ク 「成年後見制度利用促進専門委員会※」の開催 9回

- ・専門委員会での検討事例件数 延べ22件

※専門委員会：適切な後見人等候補者の調整や、複合困難世帯に対する支援方法を検討する会議

❖ 有償生活支援事業「つむぎちゃんサポート」

(1) 有償生活支援事業の推進

高齢や障害などのために日常生活に支援が必要な利用会員宅に協力会員が出向き、家事支援（掃除・調理・洗濯等）や外出支援を行いました。

コロナ禍の影響による利用控え等により減少した利用会員数については、前年度と比較し減少の度合いが落ち着きつつありますが、時間数等については鈍化の状況にあり、今後の課題となっています。

協力会員の募集に関しては、地区担当職員及び地区生活支援員との連携により、会員数が増加しました。

生活支援体制整備事業の一つの取組みとして、地区への事業拡充については、令和4年7月から4地区（島立、寿台、里山辺、奈川）においてコーディネート業務の一部を地区生活支援員が担いました。

(2) 登録会員数（令和5年3月31日現在）

年度	利用会員		協力会員	
	会員数（人）	増減率（％）	会員数（人）	増減率（％）
4	347	△6.0	231	30.0
3	369	△16.7	178	△18.3
2	443	△0.2	218	△5.6

(3) 利用時間（延べ）

年度	利用時間					
	家事支援	増減率（％）	ペット支援※	増減率（％）	外出支援	増減率（％）
4	5,587.5	△22.9			502.5	3.2
3	7,245.0	△0.8	35.0	191.7	487.0	△7.9
2	7,301.5	△12.6	12.0	△69.2	529.0	△32.9

※ペット支援は令和4年度からサービス廃止

(4) 利用回数（延べ）

年度	利用回数					
	家事支援	増減率（％）	ペット支援※	増減率（％）	外出支援	増減率（％）
4	4,211	△19.2			265	0.4
3	5,214	1.0	35	191.7	264	△16.2
2	5,162	△14.9	12	△53.8	315	△28.2

(5) ゴミ出し援助サービス 利用回数・人数（延べ）

年度	利用回数		利用者		協力者	
	回数	増減率（％）	人数	増減率（％）	人数	増減率（％）
4	7,039	△6.4	1,388	△5.8	730	△8.4
3	7,521	3.4	1,473	0.6	797	△9.6
2	7,277	△5.8	1,464	△4.5	882	△11.6

❖ 高齢者・障害者等への生活福祉関連事業

(1) 福祉器具等貸出事業

ア 車椅子の貸出し

(延べ台数)

年度	本所	四賀地区	梓川地区	波田地区	北部地区	合計
4	377	42	17	27	35	498
3	337	48	27	39	17	468
2	320	25	28	21	6	400

イ 福祉自動車の貸出し

(延べ台数)

年度	本所	四賀地区	梓川地区	波田地区	北部地区	合計
4	145	96	29	34	20	324
3	146	72	43	34	—	295
2	131	58	55	13	—	257

(2) 福祉有償運送サービス事業・公共交通空白地有償運送サービス事業

公共交通機関を利用することが困難な高齢者・障害者等の日常生活の利便を図るために、有償運送サービスを実施

(延べ件数)

年度	本所	四賀地区	安曇地区	奈川地区	北部地区	合計
4	41	646	631	472	172	1,962
3	41	557	754	587	196	2,135
2	26	835	703	633	195	2,392

(3) 高齢者等配食サービス事業（市受託事業）

高齢者・障害者等世帯へ食事を配達することで、対象者の食生活の維持及び見守りを実施

(延べ件数)

年度	四賀地区	安曇地区	奈川地区	合計
4	3,228	1,958	364	5,550
3	3,223	1,847	296	5,366
2	3,342	1,704	263	5,309

(4) 軽度生活援助事業（市受託事業）

65歳以上のひとり暮らしの方や高齢者世帯へ生活援助員を派遣して、草取りや周囲の片付けなどの軽易な作業を行い日常生活を支援

年度	四賀地区	(延べ件数)
4	15	
3	17	
2	12	

(5) 身体障害者等訪問入浴サービス事業（市受託事業）

家庭での入浴が困難な障害者・難病患者の方に対して、自宅に浴槽を搬入して入浴を実施

年度	本所	(延べ件数)
4	239	
3	251	
2	223	

(6) 奈川社会就労センター（市指定管理）

身体上若しくは精神上の理由又は世帯の事情により就労能力の限られている要保護者等に対して、就労の機会を提供するとともに、必要な知識及び技能の習得など自立支援の向上に努めています。

また、令和元年5月本所に通じる幹線道路に土砂崩落があり、現在は寄合渡分場に本所機能を移転し事業を実施しています。

ア 在籍者の状況（令和5年3月31日現在）

事業所	男性	女性	計
本所・寄合渡分場 計	3人	7人	10人

イ 事業内容

一般企業から仕事を受注し、その作業に必要な経費を控除した売上金全額を工賃として支給

(ア) 企業からの受託事業

本多通信工業(株)、(株)アイニックス、シナノカメラ工業(株)、(株)おむすびころりん本舗、(株)穂高観光食品、(株)あずみ野食品

(電子部品の検査及び加工、フリーズドライ選別、食品包装)

(イ) 作業収入、工賃支給額

電子部品関係の企業の経営不振によって発注が減った分、食品包装等の会社と新規契約して対応した結果、作業収入全体は減少しましたが、一人当たりの工賃は前年度並みを維持しました。

年度	作業収入額(円)	増減率(%)	工賃支給額(円)	増減率(%)
4	12,040,324	△5.8	10,401,446	△10.9
3	12,786,304	3.3	11,671,584	5.3
2	12,380,904	△10.3	11,080,323	△10.2

・令和4年度平均工賃単価（一人当たり）

79,097円/月（令和3年度：79,363円/月）

(7) 奈川ふれあいの家（市指定管理）

高齢者等の生きがい活動の場と、ひとり暮らしの不安解消・自立を図る居住施設として管理運営を行いました。

ア 居住施設（居室4室）

利用状況： 4月～9月 1世帯1人 10月～3月 2世帯2人

イ 共有施設（広間）

年度	利用者数(人)	増減(人)
4	496	135
3	361	133
2	228	△250

(8) ほのぼの広場（奈川屋内スポーツ施設）（市指定管理）

年度	利用者数(人)	増減(人)
4	275	23
3	252	104
2	148	△454

4 介護サービスの提供

❖ 介護保険事業（介護保険法対象事業）

（1）全体概要

令和4年度は前年度に引き続き、訪問介護、通所介護事業が大幅な減収となりました。大きな要因は新型コロナウイルス感染症によるもので、通所介護事業では利用者や職員、その家族の感染により、集団感染防止のため全事業所で計65日もの間休業せざるを得ない状況となりました。また、訪問介護事業も含めサービスの利用控えもあり、前年度と比較すると、事業全体の利用回数は7.0%減少し、介護報酬は40,427千円（マイナス4.3%）の減収となりました。

サービス事業別に開催した介護保険事業経営戦略プロジェクト会議では、コロナ禍における各事業の現状を分析し、経営改善に向けた協議を行いました。とりわけ通所介護事業においては、利用人数に応じた事業規模の変更や、資格保有者の配置見直しによる加算取得など、次年度に向けて事業運営の見直しに取り組みました。

【事業別介護報酬一覧】

年度	項目	居宅介護	訪問介護	訪問入浴	通所介護 (通所型サービスA含)	計
4	延べ回数(回)	17,753	40,462	1,757	56,141	116,113
	介護報酬額(千円)	218,588	144,220	24,585	503,379	890,772
3	延べ回数(回)	18,008	45,153	1,757	59,898	124,816
	介護報酬額(千円)	222,179	160,415	24,530	524,075	931,199
2	延べ回数(回)	18,453	49,496	1,755	60,064	129,768
	介護報酬額(千円)	224,349	172,948	24,106	539,371	960,774
前年 比較	延べ回数(回)	△255	△4,691	0	△3,757	△8,703
	増減率(%)	△1.4	△10.4	0	△6.3	△7.0
	介護報酬額(千円)	△3,591	△16,195	55	△20,696	△40,427
	増減率(%)	△1.6	△10.1	0.2	△3.9	△4.3

（2）居宅介護支援事業

介護支援専門員が介護保険サービス利用者の相談に応じ、利用者の状態に合った在宅・施設サービスを利用できるよう市町村、在宅サービス事業所、介護保険施設等との連絡調整を行い、居宅サービス計画（ケアプラン）の作成を実施しました。

全体では、利用者の在宅介護から施設入所への移行に伴う利用者の減少や、要介護者のケアプランより報酬単価が低い要支援者の介護予防プラン作成の増加等により、介護報酬は前年から3,591千円減収（マイナス1.6%）になりました。

【事業所別介護報酬一覧】

年度	項目	本所	西部	四賀	北部	計
4	延べ回数(回)	6,071	5,617	1,964	4,101	17,753
	介護報酬額(千円)	73,238	67,377	25,391	52,582	218,588
3	延べ回数(回)	6,306	5,520	2,112	4,070	18,008
	介護報酬額(千円)	76,553	66,333	27,434	51,859	222,179
2	延べ回数(回)	6,534	5,448	2,115	4,356	18,453
	介護報酬額(千円)	76,128	66,438	27,174	54,609	224,349
前年比較	延べ回数(回)	△235	97	△148	31	△255
	増減率(%)	△3.7	1.8	△7.0	0.8	△1.4
	介護報酬額(千円)	△3,315	1,044	△2,043	723	△3,591
	増減率(%)	△4.3	1.6	△7.4	1.4	△1.6

(3) 訪問介護事業

訪問介護員(ホームヘルパー)が家庭を訪問し身体介護や生活援助のサービスを実施しました。新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用控えのほか、朝、夕等サービス利用希望時間に偏りがあり、人材不足による新規利用者の受入困難な状況、また長く在宅生活で多くの介護サービスを利用していた利用者が施設へ入所する傾向もみられ、利用回数は前年度に比べ10.4%減少し、それに伴い介護報酬も16,195千円の大幅な減収となりました。

【事業所別介護報酬一覧】

年度	項目	本所	西部	四賀	北部	計
4	延べ回数(回)	17,880	7,157	6,457	8,968	40,462
	介護報酬額(千円)	61,744	26,816	23,326	32,334	144,220
3	延べ回数(回)	20,533	7,149	7,577	9,894	45,153
	介護報酬額(千円)	70,535	26,931	27,363	35,586	160,415
2	延べ回数(回)	21,720	7,294	8,141	12,341	49,496
	介護報酬額(千円)	75,969	27,374	28,307	41,298	172,948
前年比較	延べ回数(回)	△2,653	8	△1,120	△926	△4,691
	増減率(%)	△12.9	0.1	△14.8	△9.4	△10.4
	介護報酬額(千円)	△8,791	△115	△4,037	△3,252	△16,195
	増減率(%)	△12.5	△0.4	△14.8	△9.1	△10.1

【サービス別利用状況一覧】

事業所 項目	本所		西部		四賀		北部		計	
	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間
身体昼間	6,792	3,914	3,291	2,155	4,249	2,546	2,773	1,713	17,105	10,328
身体夜間	327	183	256	161	2	2	414	322	999	668
身体生活	2,938	3,530	1,236	1,367	1,062	1,139	1,530	2,096	6,766	8,132
生活援助	3,200	3,115	528	525	622	583	1,383	1,317	5,733	5,540
介護予防	4,623	4,563	1,846	1,700	522	505	2,868	2,844	9,859	9,612
合計	17,880	15,305	7,157	5,908	6,457	4,775	8,968	8,292	40,462	34,280

(4) 訪問入浴介護事業

自宅での入浴が困難な高齢者の家庭へ移動入浴車で訪問し、組立て式の浴槽を搬入して、介護員と看護師が入浴サービスを提供しました。利用回数は昨年度と同数で、1日平均7.3件ほど実施しました。また、報酬も昨年並みとなりました。

【事業所別介護報酬一覧】

年度	項目	本所
4	延べ回数(回)	1,757
	介護報酬額(千円)	24,585
3	延べ回数(回)	1,757
	介護報酬額(千円)	24,530
2	延べ回数(回)	1,755
	介護報酬額(千円)	24,106
前年比較	延べ回数(回)	0
	増減率(%)	0
	介護報酬額(千円)	55
	増減率(%)	0.2

(5) 通所介護事業

ア 通所介護サービス

通所介護事業所は、4事業の中で最も新型コロナウイルス感染症第7・8波の影響を受け、全事業所合わせて65日間休業をすることになりました。また、保健所の指示による利用の制限や、感染を警戒した利用控えも影響し、利用回数が前年に比べ6.1%減少し、介護報酬は19,745千円(マイナス3.8%)の大幅な減収となりました。

【事業所別介護報酬一覧】

年度	項目	安曇	奈川	梓川	波田		四賀	北部		計
		いいら	心和荘	なごみ荘	ふれあい	きたはらっぼ	ぶくぶくの郷	北部	東部	
4	延べ回数(回)	4,735	2,456	7,281	8,550	2,848	8,932	11,734	7,330	53,866
	介護報酬額(千円)	35,529	18,345	70,739	76,888	24,500	87,089	116,952	64,539	494,581
3	延べ回数(回)	5,868	2,904	7,971	8,629	2,766	9,703	12,297	7,212	57,350
	介護報酬額(千円)	41,920	22,201	74,267	76,899	26,440	95,469	117,145	59,985	514,326
2	延べ回数(回)	5,747	3,071	7,538	8,214	3,537	10,409	11,227	7,124	56,867
	介護報酬額(千円)	43,157	24,316	72,030	74,087	35,172	102,439	115,130	61,036	527,367
前年比較	延べ回数(回)	△1,133	△448	△690	△79	82	△771	△563	118	△3,484
	増減率(%)	△19.3	△15.4	△8.7	△0.9	3.0	△7.9	△4.6	1.6	△6.1
	介護報酬額(千円)	△6,391	△3,856	△3,528	△11	△1,940	△8,380	△193	4,554	△19,745
	増減率(%)	△15.2	△17.4	△4.8	0	△7.3	△8.8	△0.2	7.6	△3.8

イ 通所型サービスA（市受託事業）

要支援者やサービス事業対象者の方が要介護状態や閉じこもりにならないように、体操や仲間との交流を通じて身体機能の維持・向上を図るため、少人数で、地域に密着した介護予防のサービスを実施しました。利用回数は前年度に比べ10.7%減少し、報酬は955千円の減収となりました。

特に利用者が減少している梓川地区については、利用人数に合わせた営業日数にするなど効率的な運営を実施しました。

通所型サービスA事業をより認知していただくため、パンフレットを作成し包括支援センター及び居宅介護支援事業所への配布を実施し新規利用者の確保に努めました。

【事業所別介護報酬一覧】

年度	項目	安曇	奈川	梓川	四賀	計
4	延べ回数（回）	376	612	991	296	2,275
	介護報酬額（千円）	1,519	2,479	3,746	1,054	8,798
3	延べ回数（回）	397	601	1,174	376	2,548
	介護報酬額（千円）	1,607	2,436	4,444	1,262	9,749
2	延べ回数（回）	556	529	1,615	497	3,197
	介護報酬額（千円）	2,224	2,116	6,024	1,640	12,004
前年比較	延べ回数（回）	△21	11	△183	△80	△273
	増減率（％）	△5.3	1.8	△15.6	△21.3	△10.7
	介護報酬額（千円）	△88	43	△698	△208	△951
	増減率（％）	△5.5	1.8	△15.7	△16.5	△9.8

5 障害者福祉の推進

❖ 障害者在宅支援事業

(1) 障害者相談支援事業

障害者及び障害児の自立した日常生活、社会生活を目指し利用者への相談支援やサービス等利用計画の作成をしました。

利用者からの日々の相談が多く、新規利用者の受入れが困難ではありますが、前年より4.7%の増収となりました。

【年度別計画相談支援報酬額】

年度	延べ請求回数(回)	報酬額(千円)	増減率(%)
4	531	8,333	4.7
3	513	7,960	△13.6
2	591	9,215	△9.4

(2) 居宅介護(訪問介護)等事業

訪問介護員(ホームヘルパー)が利用者宅を訪問し身体介護や家事援助等を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、サービスの利用を控える方が多かったこと、回数の多かった方の利用が終了したことにより、報酬額で前年度比3,302千円(マイナス8.2%)の減収となりました。

【事業所別報酬一覧】

年度	項目	本所	西部	四賀	北部	計
4	延べ回数(回)	5,579	1,191	154	4,809	11,733
	報酬額(千円)	17,584	3,946	482	14,804	36,816
3	延べ回数(回)	5,508	1,618	175	5,690	12,991
	報酬額(千円)	17,330	5,260	568	16,960	40,118
2	延べ回数(回)	7,088	1,688	158	6,932	15,866
	報酬額(千円)	20,905	4,958	496	20,590	46,949
前年比較	延べ回数(回)	71	△427	△21	△881	△1,258
	増減率(%)	1.3	△26.4	△12.0	△15.5	△9.7
	報酬額(千円)	254	△1,314	△86	△2,156	△3,302
	増減率(%)	1.5	△26.0	△15.1	△12.7	△8.2

【サービス別稼働状況一覧】

事業所 項目	本所		西部		四賀		北部		計	
	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間
身体介護	2,510	2,237.50	528	502.00	154	77.00	1,226	1,222.00	4,418	4,038.50
家事援助	3,025	3,024.25	663	659.00	0	0.00	3,212	3,055.50	6,900	6,738.75
通院介助	8	16.50	0	0.00	0	0.00	31	62.50	39	79.00
同行援護	36	43.00	0	0.00	0	0.00	194	314.50	230	357.50
移動支援	0	0	0	0.00	0	0.00	146	100.50	146	100.50
合計	5,579	5,321.25	1,191	1,161.00	154	77.00	4,809	4,755.00	11,733	11,314.25

(3) 心身障害児(者)激励行事(ふれあいバスハイク)(市受託事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。

❖ 障害者通所・就労支援施設の運営

しいのみ学園（市指定管理）

障害児及びその家族に対し、児童福祉法に基づく児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業を実施しました。

（１）事業所目標

しあわせねがい いろとりどりにえがくみらいへ のびのびたのしく
みんないっしょに はじめのいっぽ

（２）事業実施状況

月	行 事	
4	・在籍18名でスタート （児童発達10人・放課後デイ8人） ・前期個別懇談	【医療・訓練・相談】 ・心理相談（年10回） ・内科健診（年2回） ・神経科診察（年4回） ・ST相談指導（年12回） ・OT相談指導（年10回） ・歯科検診（年1回） ・音楽療法（年6回） 【療育】 ・母子通園（毎日） ・単独通園（月・火・木曜日） ・PT訓練 ・個別指導 ・摂食指導 ・課題保育 ・体操 ・マッサージ など ・緊急時の分離 ・看護師による医療行為及び体調管理 【あそび】 ・集団あそび ・感触あそび ・感覚あそび ・運動あそび ・製作 ・散歩 等 【交流保育】 ・南松本保育園 【その他】 ・保護者会（月1回） ・身体測定（月1回） ・お話し会（年4回） ・母親学級（年2回） 【放課後デイサービスの実施】 ・随時受入れ ★新入園児利用契約(随時) ★前年度卒園児の特別支援学校、保育園訪問 ★他の医療・福祉機関との情報共有、ケア会議等連携 ★就学指導委員会、教育相談 ★実習・見学実習生受入れ (PT・施設実習)
5	・園外保育（スカイパーク） ・誕生会（4・5・6月生まれ） ・野外療育（懐古園・南城公園）	
6	・野菜の苗植え、種まき ・園外保育（アルプス公園）	
7	・七夕飾り・プールあそび・家族参観日	
8	・夏まつり ・誕生会（7・8・9月生れ）	
9	・園外保育（アルプス公園） ・おはなしコンサート ・野外療育（宮田村総合公園）	
10	・園外保育（国営アルプスあずみの公園） ・後期個別懇談会・いもほり	
11	・やきいも会 ・父親参観日 ・誕生会（10・11・12月生れ）	
12	・もみの木飾り・クリスマス会	
1	・お正月ゲームあそび	
2	・豆まき ・野外療育（そりすべり・朝日プライムスキー場） ・誕生会（1・2・3月生れ）	
3	・お別れ会 ・卒園式	

(3) 年度別開所並びに利用者の状況

令和4年度は、前年度の卒園児8名に対し入園児が4名に止まり、利用者数において前年度比2割減となりました。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、登園控えによる欠席等の増加により、運営費収入は減少となりました。

年度	利用定員	開園日数	在園児人数	年齢区分			障害別					延人員数 (保護者含)	園児延人数	1日平均園児数
				3歳未満	3~6歳	7歳以上	肢体不自由	知的障害	盲・ろうあ	その他	重複障害(再掲)			
4	10	230	14	2	12	/	12	2	0	0	14	2,706	1,193	5.2
		230	7	/	/	7	5	2	0	0	7	/	195	0.84
3	10	229	16	5	11	/	15	1	0	0	16	3,164	1,582	6.9
		229	6	/	/	6	3	3	0	0	6	/	177	0.77
2	10	232	22	8	14	/	18	4	0	0	22	3,798	1,899	8.19
		232	6	/	/	6	3	3	0	0	6	/	174	0.75

(上段…児童発達支援事業 下段…放課後等デイサービス事業)

(4) 運営費収入の状況

(前年度比 1,066,730円の減)

年度	障害児通所給付 (円)	利用者負担金 (円)	計(円)	増減率(%)
4	22,271,058	387,571	22,658,629	△4.5
3	23,308,495	416,864	23,725,359	△0.4
2	23,434,112	393,481	23,827,593	△20.2

心身障害者福祉センター（市指定管理）

（１）日常生活訓練事業「やまなみ学級」

就労の機会を得がたい在宅の重度障害者と保護者を対象に、お互いの交流をはじめ訓練・学習・創作活動や野外学習等を行いました。利用者アンケートでは、やまなみ学級と地域との交流の必要性に関心がよせられました。長引く新型コロナウイルス感染症拡大の中で、少しでも不安が軽減できるように和やかな居場所づくりに努めました。

- ・日 時 毎週月・木曜日 9：30～15：00 （実施回数 計92回）
- ・対 象 在宅重度障害者及び家族 在籍者数 9名（男3名、女6名）
- ・送 迎 リフト付きバス2台運行（車いす4台乗車可能）
- ・講 師 機能訓練：理学療法士
学 習：ボランティア5名の協力により運営
（社会、体育、科学、読み聞かせ、音楽療法）

（２）社会適応訓練事業

講座名	内 容	回数	参 加 延人員
レンゲつつじ	聴覚障害者と交流を深めた。	7	91
デフクローバー	デイサービスで孤立しがちな高齢の聴覚障害者が社会参加をめざした。	20	228

（３）創造・軽作業事業

講座名	内 容	回数	参 加 延人員
木 彫	初歩的な物から始め木彫の技術を学び創作を楽しんだ。	19	99
陶 芸	土に慣れ親しみながら、小作品の創作を楽しんだ。	20	120
書 道	個々に応じて指導・アドバイスを受け、書を楽しんだ。	17	143
パッチワーク	聴力障害、及び身体障害者を中心に創作を楽しんだ。	5	25

（４）その他（レクリエーション等）

講座名	内 容	回数	参 加 延人員
うたの教室	楽しみやすい曲を楽しく歌い、リフレッシュを図った。	8	119
わくわく 体操教室	個々の障害に応じた指導で体力維持と機能回復を図った。	38	193

（５）施設の主な利用団体名

松本失語症友の会、県心理リハビリテーションの会松本地区、松本市聴覚障害者社会参加支援協会、松本市しいのみ会、松本市聴覚障害者協会、長野県聴覚障害者協会松本支部、松葉会

(6) 送迎サービス

松本市から貸与されている送迎用車輛（リフト付バス2台）とリース車両を運行し、障害者の送迎サービスを実施

年度	1号車(ワゴン)		3号車(ワゴン)		合計	
	年間稼働日数	利用者数	年間稼働日数	利用者数	年間稼働日数	利用者数
4	124	825	143	1,496	267	2,321
3	142	772	128	1,437	270	2,209
2	77	315	170	1,729	247	2,044

(7) 部屋別利用状況

年度	室名	集会室	訓練室	計
	4	件数	260	225
人員		2,157	2,553	4,710
3	件数	269	281	550
	人員	2,578	3,121	5,699
2	件数	229	257	486
	人員	1,847	2,902	4,749

(8) 目的別利用状況

利用目的 年度	開館 日数	内容	一般 利用者	センター事業利用者数					計
				日常生活 訓練	社会適 応訓練	創作 軽作業	レクリエ ーション	その他	
4	347	件数	250	92	36	61	46	0	485
		人数	2,253	1,340	418	387	312	0	4,710
3	347	件数	218	92	109	60	71	0	550
		人数	2,044	1,170	1,446	441	598	0	5,699
2	347	件数	205	93	73	64	51	0	486
		人数	2,156	1,088	738	363	404	0	4,749

(9) 運営費収入の状況

(前年度比 50,460円の減)

年度	地域活動支援事業 収入 (円)	地域活動支援事業 対象外利用者負担金 (円)	計(円)	増減率(%)
4	1,748,170	83,800	1,831,970	△2.7
3	1,799,530	82,900	1,882,430	9.7
2	1,632,570	83,600	1,716,170	△11.6

希望の家（市指定管理）

障害者総合支援法に規定する就労継続支援B型事業所として、通常の事業所に雇用されることが困難な障害者に対して、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動等の機会の提供を通じて、その知識及び能力向上のために必要な訓練その他基本的な生活習慣の習得を図りました。

（１）事業所目標

「かけがえのない あなたがそばにいるから 希望が生まれ 希望が叶う」

○利用者はかけがえのない存在であり、苦楽を共有し理解し合うことで、本人の生きる希望に力が湧き、いつか希望が叶うよう支援を行います。

（２）事業内容

ア 受託事業

（ア）民間企業、行政からの受注作業（15社・市役所）

- ・ダンボールの仕切り組立て、菓子箱の折り、袋詰め、封入・封折作業等
- ・Jリーグチケット整理券のカット

（イ）外部就労

- ・合同庁舎清掃49回（月3～4回）
- ・総合社会福祉センター清掃99回（コロナ感染状況を踏まえて実施）

イ 自主生産事業

（ア）リサイクル事業

- ・新聞、広告、雑誌、カタログ、空き缶、牛乳パック・アルミ缶等の回収
- ・資源物の仕分け、分別作業、積み込み運搬

（イ）自主製品の製作・販売

- ・製作品：牛乳パックでつくる手すきハガキ・カード
ミサンガ、刺し子、織り物、編み物等
- ・販売活動：Cafe ポリジ「木陰マルシェ」ほか

ウ 喫茶事業

（ア）営業日：201日（前年度：165日）

コロナ対策による臨時休業 4月5日～5月9日（20日間）

（イ）Cafe ポリジの管理・運営を通じた就労訓練

店内清掃、接客、厨房作業、コーヒー豆販売等

（ウ）Cafe ポリジ「木陰マルシェ」の開催（6回）

感染防止対策をとったうえで、地域との交流や利用者支援のため、ポリジ前庭等において本会が運営する就労継続支援5事業所及び地域同業事業所（2事業所）や地元松南地区住民と共同開催

（エ）販路拡大の取組み

- ・「ちょこっとランチ」販売会（11回）
- ・弁当等配達（50件）

(オ) 喫茶事業「Cafe ポリジ」の運営方針の策定

コロナ禍の影響による収入額の半減（財源不足）を踏まえた喫茶事業の経営改善、また共同店舗5施設（就労支援）の関わり方を明確にする理由から、市民参加の研究プロジェクトを立ち上げ、運営方針の策定をしました。

〈運営方針による経営改善策〉

- ・ コーヒーポットサービス（8回）
- ・ サークル向け貸し切り（3回）
- ・ 一般カフェとの交流（一般就労に向けて）
- ・ エスプレッソマシンの見直し

エ 作業収入、工賃支給の実績

受託加工は、昨年同様、輸出・観光関係に関わる受注は回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症拡大以前までの回復には至りませんでした。

また自主生産では、感染対策のため販売機会が少なく、増収には至りませんでした。

(ア) 受託加工・自主生産等作業収入、工賃支給額

年度	作業収入（円）	増減率（％）	工賃支給額（円）	増減率（％）
4	2,545,318	15.4	2,248,960	14.0
3	2,205,486	13.6	1,974,177	21.2
2	1,941,577	△35.9	1,628,807	△36.5

・ 令和4年度平均工賃単価

一人あたり 8,960円/月（令和3年度：8,260円/月）

・ 増額の理由

輸出関連企業の受託作業が回復してきたこと。またこれまでの受託作業で培った確実な仕事が評価され新規企業の紹介につながり、工賃増になりました。

(イ) 喫茶事業収入、工賃支給額

年度	作業収入（円）	増減率（％）	工賃支給額（円）	増減率（％）
4	3,840,773	26.6	154,983	53.8
3	3,031,985	△1.9	100,740	3.7
2	3,090,333	△33.5	97,106	△63.9

・ 令和4年度平均工賃単価

一人あたり 1,824円/月（令和3年度：1,259円/月）

・ 増額の理由

コロナ禍で落ち込んでいた来客も徐々に増加し、他施設と共同開発したパンメニューが好評で、安定した来客数の確保につながりました。また、弁当配達やコーヒーポットサービス等の外販売での売上げが好調だったため工賃の増額につながりました。

(ウ) 喫茶事業 来客数と5施設の売上

年度	延べ来客数(人)	増減率(%)	5施設売上(円)	増減率(%)
4	3,468	24.1	1,135,023	36.6
3	2,794	△13.0	818,657	△47.2
2	3,213	△44.5	1,551,843	74.9

(3) 生活訓練

- ア 社会性（挨拶、言葉づかい、共助）
- イ ADLの向上（日常生活動作）身支度、食事、排泄、清潔保持
- ウ IADLの向上（手段的生活動作）洗濯、洗濯干し、服薬、食洗、清掃
- エ おつかれ様会（年末、年度末お茶会（希望の家にて））
- オ 金銭授受支援（Cafe ポリジ・飲料訪問販売）
- カ Cafe ポリジ「木陰マルシェ」の運営（テント・タープ設営スタッフ）

(4) 社会見学

- 諏訪湖、蓼科（寒天工場、チーズケーキ工房）

(5) バザー等地域行事への参加

- ア Cafe ポリジ「木陰マルシェ」
- イ 芳川公民館主催「まるっと青空市」での地域交流
- ウ 「身近な地域のまるごと交流会」（児童・高齢者・障害者との交流）

(6) 利用者懇談・保護者との個別面談

(7) 実習生及びボランティアの受入れ

- ア 実習生の受入れ（松本養護学校、寿台養護学校）
- イ 木陰マルシェや自主生産活動作業での地域ボランティアと交流
- ウ 在宅、または移行利用希望者の見学
- エ 松本短期大学、保育士学生の実習受入れ

(8) 年間行事

- 4月 入所式
- 6月 避難誘導訓練（自衛消防訓練）
- 7月 社会見学「諏訪大社、蓼科高原チーズケーキ工房、長時寒天館」
- 11月 健康相談
- 12月 年末おつかれ様会、大掃除
- 3月 大掃除、年度末おつかれ様会、年度末棚卸

(9) 在籍者の状況（令和5年3月31日現在）

【障害状況】（単位：人）

障害区分	男	女	計
知的障害者	12	6	18
身体障害者（知的重複）	1	2	3
精神障害者（知的重複）	0	0	0
その他	0	0	0
計	13	8	21

【年齢】 (単位：人)

年齢	男	女	計
20歳未満	0	2	2
20～29歳	5	3	8
30～39歳	4	1	5
40～49歳	4	1	5
50歳以上	1	0	1
計	14	7	21

(10) 開所日数・利用者数

年度	開所日数	通所延べ人数	登録人数	1日平均利用人数
4	237日	4,413人	21人	18.6人
3	240日	4,287人	19人	17.9人
2	241日	4,239人	21人	17.6人

(11) 運営費収入の状況（送迎代等含む）

事業所の利用定員数を22名から20名に減らしたため、訓練等給付費の基本単位数が上がり利用料の増額となりました。また、新規利用者も2名あり増収につながっています。（前年度比：4,465,140円の増）

年度	利用料収入 (円)	利用者負担金 収入 (円)	計(円)	増減率(%)
4	32,693,910	104,000	32,797,910	15.8
3	28,208,170	124,600	28,332,770	0.5
2	28,094,392	91,200	28,185,592	△3.0

岡田希望の家（市指定管理）

障害者総合支援法に規定する就労継続支援B型事業所として、通常の事業所に雇用されることが困難な障害者に対して、就労の機会を提供するとともに、生産活動等の機会の提供を通じて、その知識及び能力向上のために必要な訓練その他基本的な生活習慣の習得を図りました。

(1) 事業所目標

「仲間とともに 働く幸せ 人に役立つ幸せ 明るく 楽しく あきらめず」

(2) 事業内容

ア 受託事業

(ア) 民間企業からの受注作業（8社）

・お土産のバーコード、タグ付け、梱包・封入、プラダン組立て等

(イ) 合同庁舎清掃51回（月3～4回）

(ウ) 農福連携 (1社)

- ・いちごハウスの清掃、アスパラ畑の草取り、芝生の草取り

イ 自主生産事業

(ア) リサイクル事業

- ・アルミ缶回収・牛乳パック、新聞紙、段ボール、雑誌の回収

(イ) 自主製品の製作・販売

- ・製作品：手芸作品（猫ティッシュケース、ねこはんてん、刺し子ふきん等）
染色品（草木染め・藍の生葉染めショール・草木染め・藍の型抜きハンカチ等）
- ・委託販売：旧開智学校校舎、時計博物館、鎌倉市福祉施設店舗スーク、
浅間温泉ホテル玉の湯
- ・販売活動：浅間温泉にこにこ市、龍昌寺・合同庁舎・木陰マルシェ販売
※プラチナ大学での販売、ナイスハートバザール、合同庁舎販売会は、
新型コロナウイルス感染症流行のため中止
- ・講習会の実施 年1回

ウ 作業収入、工賃支給額

年度	作業収入（円）	増減率（％）	工賃支給額（円）	増減率（％）
4	3,935,494	22.3	3,488,096	17.2
3	3,215,310	25.0	2,975,570	33.4
2	2,573,187	△12.9	2,231,300	△22.8

(ア) 令和4年度平均工賃単価

一人あたり 17,897円/月（令和3年度：14,995円/月）

(イ) 増額の理由

利用者の作業能力が向上したことで、難しい作業や細かい作業に取り組むことができ、昨年度より多くの受注量をこなすことができました。

また、コロナ禍により落ち込んでいた観光関係企業の受注量が増加したことや、リサイクル庫を利用して地域の方から資源物を多く提供していただいたため、リサイクル事業の安定供給につながりました。

エ その他の活動

(ア) 生活支援

- ・ラジオ体操（毎日）、散歩
- ・料理実習昼食作り（年4回）、みそ汁作り（随時）

(イ) 行事

- ・ふれあいまつり（ステージ発表、展示・販売、利用者による似顔絵コーナー）
- ・社会見学、忘年会
- ・リフレッシュの日・・・利用者自らが企画、実行（実施4回、中止3回）
- ・岡田夏まつり地域交流会、市内見学は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

(ウ) 利用者及び保護者との懇談、相談支援（随時）

(エ) 実習生・ボランティア、見学受入れ

- ・個人、団体ボランティア受入れ
- ・長野県寿台養護学校高等部2年実習生 5月30日～6月 3日 1名
- ・長野県寿台養護学校高等部2年実習生 6月14日～6月17日 1名
- ・長野県寿台養護学校高等部2年実習生 6月20日～6月23日 1名
- ・松本短期大学保育課1年実習生 2月20日～3月 6日 2名

(オ) 健康診断

健康チェック（年1回 身長、体重、血圧、検尿）

(カ) 保護者会：保護者会主催

- ・保護者会（年4回）
- ・松本市及び松本市社会福祉協議会への要望書

(キ) 職員研修

- ・ケース検討
- ・障害者虐待防止
- ・強度行動障がい支援者養成研修
- ・メンタルヘルス研修
- ・工賃向上計画セミナー
- ・個別支援計画作成および引用に関する研修会
- ・高次機能障害動画研修
- ・業務継続計画（BCP）策定研修
- ・意思決定支援研修
- ・松本圏域障がい者虐待防止研修

(3) 年間行事

月	主な行事
4月	・リフレッシュの日（アルプス公園花見・散策）・保護者会・健康チェック
5月	・社会見学（中止）
6月	・保護者会・避難訓練・リフレッシュの日（草取り・アスパラ取り大会）
7月	・社会見学（富士見高原リゾート） ・灯ろう作り交流会
8月	・リフレッシュの日（お弁当会）
9月	・夏の食事会（中止） ・ワックス掛け
10月	・秋の食事会 ・ふれあいまつり
11月	・社会見学（延期） ・保護者会（延期）
12月	・忘年会
1月	・リフレッシュの日（岡田広場で体操）
2月	・社会見学（Gフレンドリー、大王わさび農場、EM酒造見学）
3月	・保護者会 ・シェイクアウト訓練・リフレッシュの日（ボーリング大会）

(4) 在籍者の状況（令和5年3月31日現在）

【障害状況】 (単位：人)

障害区分	男	女	計
知的障害	10	1	11
身体障害（知的重複）	2	4	6
精神障害（知的重複）	0	0	0
その他	0	0	0
計	12	5	17

【年齢】 (単位：人)

年齢	男	女	合計
20歳未満	0	0	0
20～29歳	7	1	8
30～39歳	1	2	3
40～49歳	3	2	5
50～59歳	1	0	1
計	12	5	17

(5) 開所日数・利用者数

年度	開所日数	通所延人数	登録人数	1日平均 利用人数
4	237日	3,771人	17人	15.9人
3	240日	3,789人	17人	15.7人
2	241日	3,844人	17人	16.0人

(6) ボランティアの来所状況

年度	来所延人数	月平均の 来所人数
4	0人	0人
3	0人	0人
2	1人	0人

※ 2～4年度は、新型コロナウイルス感染症
感染予防のため、ボランティアの受入れを
制限しました。

(7) 運営費収入の状況

令和4年度はこれまで主従関係にあった希望の家と分離し、単独事業所として
事業指定を受けたことにより、基本算定加算が上がったため増収となりました。

(前年度比 1,785,239円の増)

年度	利用料収入 (円)	利用者負担金 収入 (円)	計 (円)	増減率 (%)
4	26,742,394	227,150	26,969,544	7.1
3	24,942,605	241,700	25,184,305	△2.1
2	25,464,220	253,760	25,717,980	△0.3

障がい者就労センター・はた（市指定管理）

障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業所として、通常の事業所に雇用されることが困難な障害者に対して、就労の機会を提供するとともに、生産活動等の機会の提供を通じて、その知識及び能力向上のために必要な訓練その他基本的な生活習慣の習得を図りました。

（1）事業所目標

「雨にも負けず 風にも負けず 太陽と緑と笑顔の仲間たち」
《合言葉》 「みんなでやれば なんでもできる
できる！ できる！ やればできると信じよう！」

（2）作業訓練

ア 自主生産

- ・農業（借用している畑 1,500 m²とブルーベリー園及びハウス 2 棟で、生産の安定化と冬場作業を実施。なすの契約栽培による販売ルートの確保）
※ 波田学校給食センターへ、昨年度の長ネギ、大根に加え、今年度は人参、なすを納品しました。長ネギ納品日（12月7日）に学校給食試食会を実施。
- ・木工（木べら、菜箸、スプーン、鍋しき、竹とんぼ等）
- ・縫製（牛乳パック再利用のツール、雑巾、手織りマット、マスク等）
- ・資源回収（アルミ缶、新聞紙、段ボール、牛乳パック、雑誌、チラシ広告、その他紙類、一升瓶、ビール瓶）
- ・トイレットペーパー販売（牛乳パックと交換）
- ・石焼き芋（10月～3月）
- ・販売会
ポリジ木陰マルシェ 4月から3月 延べ6回
波田地区福祉ひろばまつり 10月16日（日）
ふれあいまつり 10月29日（土）
波田文化祭 11月5日（土）・6日（日）
- ・常設販売（波田保健福祉センター正面玄関、カフェ・ポリジ、風穴の里）

イ 受託加工

- ・部品加工等（マクセルイズミ㈱、㈱プラルト、(有)PIP、(有)犬飼工業、合同会社やまびこ屋、キッセイコムテック㈱、㈱日進ピーディーエス、(公財)自然農法国際研究開発センター）

ウ 施設外就労

- ・清掃 松本市西部福祉課(松本市波田保健福祉センターの清掃)
- ・花壇整備（スカイパーク）
- ・りんご園での摘果と葉摘み（太田農園）
- ・りんごの箱詰め（JA松本ハイランド果実共選所）
- ・ネギ畑での草取り（中平ネギ園）

（3）生活訓練

- ・ラジオ体操
- ・ミーティング（順番で進行役、作業と生活の反省や課題を話し合う）
- ・生活雑事（順番でお茶当番、ゴミ当番を実施）
- ・衛生チェック（ハンカチ、ティッシュ、歯ブラシ、コップ、水筒など）

(4) 社会訓練

- ・社会見学 7月1日(金) 国営アルプスあづみの公園と大王わさび農場
10月7日(金) かんてんぱぱガーデンと伊那文化会館
(プラネタリウム鑑賞)

(5) クラブ活動

平日で0の付く日(10日、20日、30日)の午後に実施。

内容は、軽運動、カラオケ、ゲーム、読書、ぬり絵、七夕短冊づくり等
本年度は、利用者が通所したくなる事業所づくりをめざして、クラブ活動にあわせ各種取組みを実施。

5月30日(月) ごみゼロ運動(周辺道路のごみ拾いとごみ分別の講話)

6月20日(月) 防災講演会

8月10日(水) はたの畑で収穫した野菜を使ったカレー会

9月30日(金) みんなでスカイパークのマリーゴールド花ガラ摘み

(6) 行事

4月13日(水) お花見

12月20日(火) クリスマス会

1月 4日(水) 仕事初めの会

2月 3日(金) 豆まき

(7) 健康相談

男女別に隔月で、松本市西部保健センター保健師による相談を実施
身長、体重、血圧測定と相談

(8) ボランティア・実習生・視察の受入れ

<実習生>

- ・寿台養護学校高等部3年 1名 延べ2回(計10日間) *同校初の実習生
- ・松本養護学校高等部1年 1名(3日間)
- ・松本養護学校高等部2年 2名(計8日間)
- ・安曇養護学校高等部3年 1名 延べ2回(計16日間)

※ 個人、団体ボランティア 受入れ中止

(9) 作業収入、工賃支給額

年度	作業収入(円)	増減率(%)	工賃支給額(円)	増減率(%)
4	5,341,622	△5.0	4,185,748	△4.2
3	5,625,696	△12.2	4,370,410	△17.1
2	6,405,629	△1.1	5,273,959	10.0

ア 令和4年度平均工賃単価

一人あたり 12,311円/月(令和3年度:13,124円/月)

イ 減額の理由

野菜販売額が伸びたことにより、自主事業収入は前年度比で増加しましたが、受託作業の受注量が新型コロナウイルスの影響を受け減少したため、全体では作業収入、工賃支給額、平均工賃額とも前年度を下回りました。

(10) 在籍者の状況（令和5年3月31日現在）

【障害状況（重複障害含む）】（単位：人）

障害区分	男	女	計
知的障害者	8	6	14
身体障害者	3	0	3
精神障害者	4	4	8
重複障害者	3	0	3
合計	18	10	28

【年齢】（単位：人）

年齢	男	女	合計
20歳未満	1	0	1
20～29歳	4	2	6
30～39歳	2	2	4
40～49歳	4	3	7
50～59歳	2	1	3
60歳以上	5	2	7
計	18	10	28

(11) 開所日数・利用状況（登録人数は令和5年3月31日）

4月に養護学校高等部卒業生1名が、6月に50代男性1名が入所した一方、2月に1名が自己都合により退所しました。

令和4年8月、新型コロナウイルス陽性者が同時期に複数出たことから1日の臨時閉所、また令和5年1月も陽性者及び濃厚接触者が出たことによる自宅療養自宅待機の対応から利用者の通所において大きな影響を受けました。

年度	開所日数	通所延人数	登録人数	1日平均利用人数
4	240日	4,909人	28人	20.5人
3	240日	4,946人	27人	20.6人
2	241日	5,735人	30人	23.8人

(12) 運営費収入の状況

令和3年度は、施設外就労加算廃止の報酬改定により大きな減収となりましたが、令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により通所率の低下はあったものの最小限に止まりました。利用者負担金収入は、個人負担該当の利用者が1名入所したため増加となりました。（前年度比 1,378,616円の減）

年度	利用料収入 （円）	利用者負担金 収入 （円）	計（円）	増減率（%）
4	33,296,531	214,676	33,511,207	△4.0
3	34,721,332	168,491	34,889,823	△18.3
2	42,477,688	217,751	42,695,439	△6.5

南ふれあいホーム（市指定管理）

障害者総合支援法に規定する就労継続支援B型事業所として、通常の事業所に雇用されることが困難な障害者に対して就労の機会を提供するとともに、生産活動機会等の提供を通じ、知識の体得及び能力向上のため、必要な訓練その他基本的な生活習慣の習得を図りました。

（1）事業所目標

「あたりまえのことが あたりまえにでき じりつ（自立・自律）できる自分になれる。」

※『自立』とは自分で考えて選択や行動ができること、また『自律』とは自分で決めたルールに従って行動できることです。本人が望む生活ができるように支援を行います。

（2）サービス提供の内容

サービス管理責任者が作成した「個別支援計画」に基づき、利用者の同意を得て、次の就労継続支援B型サービス等を提供しました。

サービスの種類	サービスの内容
相談及び援助	<p>利用者が希望する生活や心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等を実施しました。</p> <p>①利用希望者等からの相談、面接、見学、体験 ②利用者からの日常的な相談、面接 ③利用者の個別支援計画作成のための面接（基本的に6ヶ月毎） ④利用者の病状など他支援者との連携</p>
作業訓練	<p>自主生産、受託作業等を通じ生産活動機会を提供し、合わせて一般就労に必要な知識の体得、能力の向上のための訓練を実施し、必要な便宜を図りました。</p> <p>①自主生産 【食 品】クッキー、スコーン、マフィン、パン、山型食パン等 【縫製品】刺し子、布袋等 ②自主製品の販売先 総合社会福祉センター、JA、ポリジ・マルシェ等 ③受託作業（受託企業は7社） ・工業製品（ボンド付）、段ボール紙、厚紙製品（ボンド付、テープ貼り、組立て等） ・菓子製品の箱折り、ボンド付、ウレタン貼り、パッケージ関係（紙袋へのひも付け、シール貼り等）、贈答タオル梱包 ※「工賃」の支払いについて 上記生産活動の収入から必要経費を引いた額に相当する金額を工賃として生産活動に従事した利用者へ支払いました。</p>
健康管理	<p>利用者から健康状態の聞き取りや健康相談を行う等、健康保持のため適切な支援を実施しました。 （主治医、保健センター保健師と連携）</p>

生活訓練	<p>施設内清掃や各種当番等を担うことで、日常生活に必要な知識の体得、能力向上を目指しました。</p> <p>①朝、夕のミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席者、作業予定、作業分担、行事・制度、規律等の連絡 ・作業時間の集計等 <p>②日常的な生活訓練・指導等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対人関係、セルフケア、金銭管理、制度利用 ・食事、睡眠、服薬、通院等の指導 ・各種当番制（ミーティングの司会、お茶関係、静養室清掃） ・施設内清掃の実施 等
社会訓練	<p>社会見学、研修会、交流会（以上3つは令和4年度中止）、各種行事等への参加を通じ、社会生活に必要な知識の体得、能力向上のための必要な訓練を行い、必要な便宜を図りました。</p>
サークル活動	<p>各種サークル活動を通じ、コミュニケーション、レクリエーション、リフレッシュ、自信回復、体力回復、外出等の機会を提供しました。（お花見、ニュースポーツ、ミニコンサート等）</p>

(3) 在籍者の状況（令和5年3月31日現在）

【男女別】

男	女	合計
18人	16人	34人

【年齢別内訳】（単位：人）

年齢	男	女	計
20歳未満	0	1	1
20～29歳	1	5	6
30～39歳	0	2	2
40～49歳	3	1	4
50～59歳	10	6	16
60歳以上	4	1	5
合計	18	16	34

【一年間の動向】

新規契約者 9名
 契約解除者 7名
 （内訳：他施設利用等）

(4) 利用状況

【開所日数、利用者通所人数】

年度	開所日数	利用者延人数	1日平均通所人数
4	241日	4,159人	17.3人
3	240日	4,067人	16.9人
2	243日	4,657人	19.2人

【ボランティアの来所】

年度	来所延人数	月平均の来所人数
4	0人	0人
3	0人	0人
2	0人	0人

※2～4年度は新型コロナウイルス感染予防の為、ボランティアの受入れを中止しました。

(5) 作業収入、工賃支給額

年度	作業収入（円）	増減率（％）	工賃支給額（円）	増減率（％）
4	7,186,226	11.7	5,774,215	9.6
3	6,431,083	△10.8	5,270,560	△5.6
2	7,206,338	△6.1	5,580,618	△8.2

ア 令和4年度平均工賃単価

一人あたり 19,164円/月（令和3年度：16,522円/月）

イ 増額の理由

受託事業では受託作業量が増えたことに加え、辛抱強く依頼してきた単価アップが一部実現したことにより収入増につながりました。また、自主事業では地域事業への参加やPR等により新規注文の機会が増えたことにより、パン・菓子販売の収入増につながりました。

(6) 運営費収入の状況

就労継続支援A型事業所等に移行した利用者（3名）と、長期欠席などによる退所者（4名）で計7名の利用者が退所された一方、増加傾向に転じた見学・体験者から新規契約につながる傾向が目立ちました。このことから一日平均利用者人数が微増（前年度比0.4人増）転じ、利用料収入増につながりました。

（前年度比 388,405円の増）

年度	利用料収入 (円)	利用者負担金 収入 (円)	計 (円)	増減率 (%)
4	30,070,327	80,391	30,150,718	1.3
3	29,663,205	99,108	29,762,313	△10.3
2	33,072,078	129,422	33,201,500	△2.9

(7) 実習生の受入れについて（延33人）

信州大学医学部看護学科 31人、 松本短期大学学生 2人

北ふれあいホーム（市指定管理）

障害者総合支援法に規定する就労継続支援B型事業所として、通常の事業所に雇用されることが困難な障害者に対して、就労の機会を提供するとともに、生産活動等の機会の提供を通じて、その知識及び能力向上のために必要な訓練その他基本的な生活習慣の習得を図りました。

(1) 事業所目標

き	きもちを1つに思いやり
た	たすけあいの心をもつ
ふ	ふんばってあきらめずチャレンジする心
れ	レベルアップを目指す
あ	あかるく たのしく
い	いつも元気で自分らしく

(2) 事業内容

就労継続支援B型サービスは、就労に関する能力の向上を目的に、サービス管理責任者が作成した「個別支援計画」に基づき、利用者の同意を得て提供しています。

ア 作業内容

作業の種類	作業の内容
作業訓練	<p>自主生産、受託作業等を通じ、生産活動の機会を提供し、合わせて一般就労に必要な知識、能力の向上のための必要な訓練、その他の便宜を適切かつ効果的に実施</p> <p>※工賃の支払いについて 上記生産活動における事業収入から必要経費を差し引いた額に相当する金額を工賃として、生産活動に従事している利用者に支払い</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自主生産 <ul style="list-style-type: none"> ・パン製造・販売 ・ラスク・パウンドケーキの製造販売 ○自主製品の販売活動 <ul style="list-style-type: none"> ・店舗販売、注文販売 ・訪問販売（各地区福祉ひろば、市役所、総合社会福祉センター、各地区センター、なんぷくプラザ、松本信用金庫等） ・イベント販売 （各地区ふれあいまつり、木陰マルシェ・おひさまマルシェ等） ※今年度は新型コロナウイルス感染対策により中止のイベントも有 ○受託作業 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品関係 2社 ・会報等発送作業 2社 ・農福連携 1社 ・おみやげ品 1社 ・その他不定期封入作業等
実習及び求職活動等の支援	<p>必要に応じて、障害者就労・生活支援センター等の関係機関と連携を取りながら会社説明会への参加の支援を実施</p> <p>就労準備… 就労形態の説明、障害者手帳の申請支援、医療機関との連携、就労支援センターの補助（今年度就労実績… 1名）</p>
健康管理	<p>利用者より健康状態の聞き取りや健康相談を行うなど健康保持のための適切な支援を実施</p>

イ その他訓練内容

訓練の種類	訓練の内容
生活訓練	<p>施設内清掃や各種当番等を通じ、日常生活に必要な知識、能力の向上のための必要な訓練を行い、その他便宜を適切かつ効果的に実施</p> <p>材料費等、利用者負担が適当であるものについては費用を頂く。</p> <p>朝、夕のミーティング … 出欠席者連絡・作業予定の連絡・分担決め 行事・制度・規律等の連絡・記録 ・作業時間の集計等</p> <p>日常的な生活訓練等 … 対人関係・セルフケア・金銭管理・制度利用・食事・睡眠・服薬・通院等の助言及び指導 ・各種当番の実施（ミーティング当番、洗濯当番工房掃除） 施設内清掃の実施</p>

社会訓練	社会見学、各種行事等を通じ、社会生活に必要な知識、能力の向上のための必要な訓練を行い、その他便宜を適切かつ効果的に実施。 参加費等、利用者負担が適当であるものについては費用をいただく。 社会見学：7月22日（松本・安曇野方面）
健康管理	利用者より健康状態の聞き取りや健康相談を行うなど健康保持のための適切な支援を実施

(3) 在籍者の状況（令和5年3月31日現在）

【男女別】

男	女	合計
19人	6人	25人

【年齢別内訳】

（単位：人）

年齢	男	女	計
20歳未満	0	0	0
20～29歳	3	1	4
30～39歳	1	0	1
40～49歳	6	0	6
50～59歳	3	4	7
60歳以上	6	1	7
合計	19	6	25

(4) 利用状況

新型コロナ感染警戒レベルが高い状況が長期化し、通所への不安を抱く利用者の欠席や半日通所者が増え、利用者の1日平均通所人数が減少となりました。

（1日平均通所人数：前年度比 △0.7人）

【開所日数、利用者通所延人数】

年度	開所日数	利用者通所延人数	1日平均通所人数
4	242日	4,574人	18.7人
3	240日	4,664人	19.4人
2	241日	5,210人	21.7人

【ボランティアの来所】

年度	来所延人数	月平均の来所人数
4	0人	0人
3	0人	0人
2	0人	0人

※4年度は新型コロナウイルス感染予防の為、ボランティアの受入れを中止しました。

(5) 相談、面接業務

通所面談、指導員による相談（毎日の生活の中での相談）

ア 利用者が希望する生活や心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等を実施

イ 利用希望者等からの相談、面接、見学、体験

ウ 利用者からの日常的な相談、面接

エ 利用者の個別支援計画作成のための面接（基本的に6ヶ月毎）

(6) 作業収入、工賃支給額

年度	作業収入(円)	増減率(%)	工賃支給額(円)	増減率(%)
4	9,243,764	△13.2	6,139,885	△16.2
3	10,647,476	6.2	7,332,440	2.3
2	10,018,309	△3.5	7,167,965	1.3

ア 令和4年度平均工賃単価

一人あたり 20,813円/月(令和3年度:24,772円/月)

イ 減額の理由

半導体不足の常態化及びコロナ感染拡大による自動車の減産、並びに部品の仕様変更の影響を受け、自動車部品の受託量が減少したため、大幅な減収となりました。

(7) 運営費収入の状況

コロナ禍、通所への不安を抱く利用者の欠席や半日通所者の増加に伴う利用者の1日平均通所人数の減少、またコロナの影響により新規通所希望者の見学・体験が中止となったことも大きな要因となり運営費が減収となりました。

(前年度比 533,572円の減)

年度	利用料収入(円)	利用者負担金収入(円)	計(円)	増減率(%)
4	34,370,079	130,269	34,500,348	△1.5
3	34,898,323	135,567	35,033,890	△6.1
2	37,180,401	135,574	37,315,975	6.2

(8) 視察及び実習の受入れ

ア	信州大学医学部保健学科看護学専攻実習	36名
イ	長野県福祉大学保育学科実習	1名
ウ	松本短期大学幼児保育学科実習	2名
エ	寿台養護学校キャンパス高等部実習	2名
オ	松本ろう学校	1名

グループホーム井川城（愛称 にじの家）

障害者総合支援法に規定する共同生活援助事業所として、地域で共同生活を営むことが可能な知的・精神障害者に対して、住環境を整備して生活の場を提供し、日常生活の支援や相談支援を行いました。

（１）事業所目標

楽しくて心おちつくにじの家

（２）サービス提供の内容

ア 個別支援計画の作成及び相談支援

入居者及び家族と面談を行い、個別支援計画を作成。それに基づくサービスの提供と相談支援の実施

イ 地域で生き生きと生活できるよう個々の入居者のケア会議への参加と、必要に応じた他事業所の相談支援員等との連携

ウ 日常生活上の支援

（ア）個別支援計画に基づく、世話人による体調管理（検温、血圧）、服薬管理、食事提供、金銭管理、個々のニーズと障害特性に沿った支援

（イ）安心して共同生活を送れるよう相談支援を随時実施

（ウ）健康維持支援の一環として通院同行を実施

（エ）通勤経路の見直し・新しい通勤経路の同行支援

エ 余暇活動支援

外食やレクリエーション等余暇活動支援、地域の行事・河川清掃の参加等

（３）行事

誕生日会（誕生日）、河川清掃（４月）、納涼焼肉会（８月）、

クリスマス会（１２月）、避難訓練（４月・１０月）

（４）入居者状況（令和５年３月３１日現在）

【入居者の内訳】（単位：人）

年齢	男	女	計
２０～２９歳	０	１	１
３０～３９歳	２	０	２
４０～４９歳	１	０	１
５０～５９歳	１	１	２
合計	４	２	６

【開所日数、利用者数】

年度	開所日数	利用延人数	１日平均利用者数
４	３６５日	１,６８４人	４.７人
３	３６５日	１,８７１人	５.１人
２	３６５日	１,８６９人	５.１人

(5) 運営費収入の状況

ア 入居状況

令和4年度末 6名（定員6名） （3年度末6名）

イ 減額の理由

入居者1名について、体調不良等により自宅療養した期間の訓練等給付費が減額となりました。

（前年度比：953,153円の減）

年度	訓練等給付費 (円)	家賃収入 (円)	収入合計 (円)	増減率 (%)
4	5,526,632	720,000	6,246,632	△13.2
3	6,479,785	720,000	7,199,785	5.6
2	6,098,887	720,000	6,818,887	3.2

グループホーム水汲（愛称 つむぎの家）

障害者総合支援法に規定する共同生活援助事業所として地域で共同生活を営むことが可能な知的・精神障害者に対して、住環境を整備して生活の場を提供し、日常生活の支援や相談支援を行いました。

(1) 事業所目標

笑顔で帰ってきてほっとできる場所、それが「つむぎの家」

(2) サービス提供の内容

ア 個別支援計画の作成及び相談支援

入居者及び家族と面談を行い、個別支援計画を作成。それに基づくサービスの提供と相談支援の実施

イ 地域で生き生きと生活できるよう個々の入居者のケア会議への参加と、必要に応じた他事業所の相談支援員等との連携

ウ 日常生活上の支援

(ア) 個別支援計画に基づく、世話人による体調管理（検温、血圧）、服薬管理、食事提供、金銭管理、個々のニーズと障害特性に沿った支援

(イ) 安心して共同生活を送れるよう相談支援を随時実施

(ウ) 健康維持支援の一環として通院同行を実施

(エ) 移動支援内容・通院結果の保護者への連絡

(オ) 買い物同行と支援

エ 余暇活動支援

レクリエーション等余暇活動支援、地域の行事・公民館清掃の参加など

(3) 行事

誕生会（該当月）、河川清掃（5月）、みんなで買い物（5月）、納涼ちょっといいご飯を食べる会（8月）、クリスマス会（12月）、節分会（2月）、避難訓練（4月・10月）

(4) 入居者状況（令和5年3月31日現在）

【入居者の内訳】（単位：人）

年齢	男	女	計
20～29歳	0	1	1
30～39歳	1	1	2
40～49歳	1	0	1
50～59歳	0	0	0
60歳～	1	0	1
合計	3	2	5

【開所日数、利用者数】

年度	開所日数	利用延人数	1日平均利用者数
4	365日	1,188人	3.3人
3	234日	659人	2.8人

(5) 運営費収入の状況

ア 入居状況

令和4年度末 5名（定員6名）

（3年度末4名+新規2名-退所1名）

イ 増額の理由

令和3年度は、8月開所のため稼働期間は8ヶ月間でした。令和4年度は、相談支援事業所及び関係福祉団体等への周知を行い、自立に向けたグループホーム利用希望者への体験入居を経て、新規利用者が増えたことにより、増収につながりました。（前年度比：2,612,130円の増）

年度	訓練等給付費 (円)	家賃収入 (円)	収入合計 (円)	増減率 (%)
4	5,110,532	491,000	5,601,532	87.4
3	2,714,402	275,000	2,989,402	0

6 施設の管理運営

複合施設の管理運営

松本市からの指定管理者の指定又は管理運営の受託により、施設の維持管理、貸館、総合案内等の業務を実施しました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染の拡大防止に努めながら、4年ぶりに「総合社会福祉センターふれあいまつり」を開催しました。

また、会議等は引き続き中止が多い状況ですが、利用者数は前年度とほぼ横ばいでした。

施設名	年度	開館日数	延利用者数(人)	1日平均利用者数(人)
総合社会福祉センター (指定管理)	4	347	59,538	171.6
	3	347	59,830	172.4
	2	347	54,515	157.1
梓川福祉センター (指定管理)	4	294	5,774	19.6
	3	293	4,901	16.7
	2	293	4,540	15.5
北部福祉複合施設 「ふくふくらいず」 (受託)	4	365	39,123	107.2
	3	365	50,809	139.2
	2	365	31,018	85.0

7 団体の運営・活動支援

共同募金・日赤事業の推進

(1) 各町会を通じてお願いをしている赤い羽根共同募金や日赤活動資金の取りまとめについて、超少子高齢化や人口減少、価値観や募金先の多様化等を背景に、新聞報道等により社協事務局や市に多様なご意見が寄せられたことから、長野県共同募金会、日赤長野県支部に出向いて周知啓発の要望を提出するとともに、町会連合会の主導により集金方法等についてのアンケートを実施しました。また、県内19市社協に、募金等についてのアンケートを実施し、取りまとめました。共同募金においては、地区社協への配分が募金実績に応じたものとなるように配分方法の見直しを行いました。

(2) 共同募金事業 (単位：千円)

共同募金 目標額	募金実績	目標達成率 (%)	令和5年度の配分予定額		
			市社協	地区社協	計
35,026	34,474	98.4	6,895	10,565	17,460

(3) 日赤事業 (単位：千円)

日赤活動資金 目標額	募集実績	目標達成率 (%)	令和4年度の配分額		
			市地区全体	分区(地区)分	奉仕団分
38,115	23,688	62.1	5,392	2,535	1,129

福祉団体の支援並びに連携

(1) 社会福祉事業助成事業

共同募金事業の市社協配分金を活用し、社会福祉の推進に取り組む団体に対し活動費等を助成しています。

福祉団体8団体 240千円(1団体30,000円)

(2) 福祉団体との連携

ア 民生委員・児童委員協議会

12月の一斉改選に伴い、547人の新たな体制となった民生委員・児童委員協議会に対して、地域福祉、在宅福祉の推進を図るため、事務局事務など活動への支援・協力を実施

イ 高齢者クラブ連合会

- ・高齢者クラブ連合会の事務局として運営を支援
- ・高齢者クラブ大会、高齢者作品展、高齢者健康大会等の事業は、新型コロナウイルス感染拡大により中止

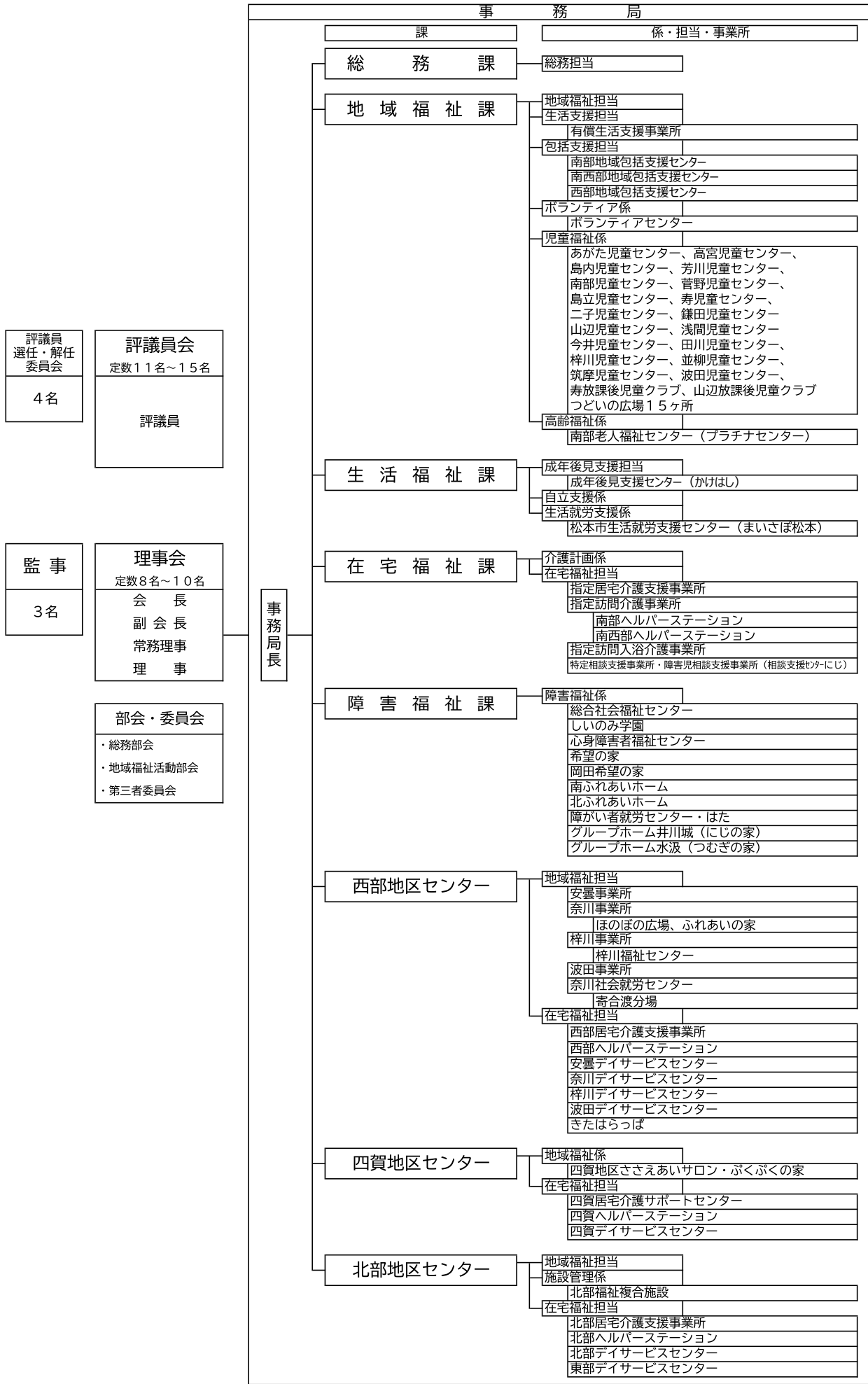
ウ その他福祉団体への支援並びに連携促進

附 属 資 料



社会福祉法人 松本市社会福祉協議会組織図

令和4年4月1日現在



令和4年度 松本市社会福祉協議会職員配置表

令和4年4月1日現在

単位:人

課	係	職員配置数			合計
		正規	嘱託	臨時※	
事務局	事務局長・事務局次長	0	2	0	2
総務課	総務担当	4	3	2	9
地域福祉課	地域福祉担当	5	3	1	9
	生活支援担当	2	33	3	38
	包括支援担当	8	3	1	12
	児童福祉係	0	3	0	3
	児童センター (放課後児童クラブ・ つどいの広場を含む)	0	58	43	101
	高齢福祉係	0	1	1	2
	計	15	101	49	165
生活福祉課	成年後見支援センター	5	3	0	8
	自立支援係	2	2	2	6
	生活就労支援係	2	3	0	5
	計	9	8	2	19
在宅福祉課	介護計画係	3	0	2	5
	在宅福祉担当	15	14	8	37
	計	18	14	10	42
障害福祉課	障害福祉担当	6	19	26	51
西部地区センター	地域福祉担当	7	2	3	12
	在宅福祉担当	20	17	34	71
	計	27	19	37	83
四賀地区センター	地域福祉担当	1	2	0	3
	在宅福祉担当	7	8	17	32
	計	8	10	17	35
北部地区センター	地域福祉担当兼施設管理担当	0	4	0	4
	在宅福祉担当	14	11	34	59
	計	14	15	34	63
合計		101	191	177	469
令和3年4月1日現在		97	184	184	465
令和2年4月1日現在		97	186	174	457
平成31年4月1日現在		96	186	172	454

※臨時職員：第1種及び第2種臨時職員

松本市社会福祉協議会 苦情（利用者の声）対応件数（年次集計）

1 申出者

	H30年度	R元年度	2年度	3年度	4年度
利用者（家族含む）・参加者 （うち匿名）	4 (1)	5 (1)	6 (3)	1	5 (2)
その他 （うち匿名）	6 (4)	3 (3)	3 (3)	6 (4)	5 (5)
合計	10	8	9	7	10

2 苦情の内容（複数該当あり）

	H30年度	R元年度	2年度	3年度	4年度
職員の態度・言動	7	6	9	3	5
サービスの内容					1
施設・設備	1				
車両の運行	1	1		5	1
被害、損害の補償		1		1	1
運営体制	1	3		1	3
事務処理					
その他					1
合計	10	11	9	10	12

3 苦情の原因（複数該当あり）

	H30年度	R元年度	2年度	3年度	4年度	
職員	態度・言動	8	5	5	3	5
	技術不足、知識不足			1	1	
	不注意・失念				5	1
運営	説明不足		1			1
	サービス・事業内容					
	施設・設備					
	運営体制	1	1			2
申出者	誤解、勘違い			1		2
	過度な要求					2
協議中・係争中						
その他・不明（事実確認できず）	1	1	2	1	1	
合計	10	8	9	11	14	

4 苦情のレベル

	H30年度	R元年度	2年度	3年度	4年度
意見・要望	7	5	7	3	6
要求・請求	3	3	2	4	4
その他（調停・訴訟）					
合計	10	8	9	7	10

5 対応（複数該当あり）

	H30年度	R元年度	2年度	3年度	4年度	
申立者	説明、報告	4	6	3	4	4
	謝罪	2	3	3	4	1
	補償・賠償					
	匿名のため留保	3	1	6	3	7
事業所内	職員への指導、情報共有	7	7	9	5	10
	職員の担当替え、異動			2	1	2
	施設・設備の改善	1				
	運営体制・事務の改善	1	1		1	2
	その他					
第三者委員会対応						
協議中・係争中（年度末時点）						
合計	18	18	23	18	26	

令和4年度 新型コロナウイルス感染症による休業状況

日数の括弧内は、部分休業した内数

	事業所	回数	日数
1	安曇デイサービスセンター	3回	12日 (4)
2	奈川デイサービスセンター	1回	2日
3	梓川デイサービスセンター	5回	13日
4	波田デイサービスセンター	3回	8日
5	きたはらっぱ	2回	7日
6	四賀デイサービスセンター	2回	8日
7	北部デイサービスセンター	1回	5日
8	東部デイサービスセンター	3回	19日 (5)
	デイサービスセンター 計	20回	74日 (9)
9	希望の家	1回	4日
10	岡田希望の家	2回	4日
11	北ふれあいホーム	3回	5日
12	就労センター・はた	1回	1日
	就労継続支援事業所 計	7回	14日
13	あがた児童センター	2回	6日
14	高宮児童センター	1回	4日
15	島内児童センター	4回	8日
16	芳川児童センター	6回	17日
17	南部児童センター	1回	3日
18	菅野児童センター	1回	2日
19	島立児童センター	3回	5日
20	寿放課後児童クラブ	4回	10日 (8)
21	鎌田児童センター	4回	9日 (3)
22	山辺児童センター	1回	2日
23	山辺放課後児童クラブ	3回	5日
24	浅間児童センター	3回	7日
25	今井児童センター	1回	2日
26	田川児童センター	2回	5日
27	梓川児童センター	4回	10日 (6)
28	並柳児童センター	3回	6日
29	筑摩児童センター	2回	7日
30	波田児童センター	7回	17日 (5)
31	芳川つどいの広場	1回	1日
32	山辺つどいの広場	2回	2日
	児童センター 計	55回	128日 (22)
	合計	82回	216日 (31)

令和4年度地域福祉活動推進支援事業 確定一覧表

地区名	報告日		1 地区課題の把握・解決事業		2 見守り・支え合い事業		2-1 マップ作成事業			3 地域ふれあい推進事業		3-1地域ふれあい推進事業			4 ボランティア等人材育成事業		5 住民学習サポート事業		6 住民主体事業		合 計		
			役員研修 連絡会議 住民福祉意識調査		地区		町会			地区		町会			地域ボランティア活動		地区社協だより 福祉懇談会・福祉講座 介護者支援事業		住民主体の福祉活動				
	月	日	決定額	確定額	決定額	確定額	決定額	町会数	確定額	決定額	確定額	決定額	町会数	確定額	決定額	確定額	決定額	確定額	決定額	確定額	決定額	確定額	
第一	2	2	20							40,000	40,000						30,000	30,000			70,000	70,000	
第二	6	2	25	20,000	20,000	20,000	20,000			40,000	40,000	52,000	3	52,000	50,000	50,000	70,000		119,000	119,000	371,000	301,000	
第三	8	2	24	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	1	20,000	40,000	40,000	79,000	5	79,000	50,000	50,000	70,000	70,000	127,000	127,000	426,000	426,000
東部	7	2	28	20,000	20,000	15,000	15,000			30,000	30,000	240,000	11	220,000	50,000	50,000	60,000	60,000	80,000	80,000	495,000	475,000	
中央	8	3	15	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	1	20,000	40,000	40,000	240,000	12	238,000	50,000	50,000	70,000	70,000	117,000	117,000	577,000	575,000
城北	8	2	27	20,000	20,000	20,000	20,000	120,000	6	120,000	40,000	40,000	160,000	8	160,000	50,000	50,000	70,000	70,000	200,000	200,000	680,000	680,000
安原	7	3	20	20,000	20,000	20,000	20,000			40,000	40,000	129,000	10	129,000	50,000	50,000	70,000	70,000	146,000	146,000	475,000	475,000	
城東	7	2	28	20,000	20,000	20,000	20,000	40,000	0		40,000	40,000	149,000	11	143,000	50,000	50,000	70,000	70,000	115,000	115,000	504,000	458,000
白板	6	2	28			20,000	20,000	20,000	1	20,000			218,000	12	149,000	50,000	50,000	70,000	69,960	182,000	182,000	560,000	490,960
田川	7	2	21	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	0		40,000	40,000	200,000	8	160,000	50,000	50,000	70,000	70,000	143,000	143,000	563,000	503,000
庄内	8	2	27	20,000	20,000	20,000	20,000	80,000	3	60,000	40,000	40,000	220,000	8	149,000	50,000	50,000	70,000	70,000	200,000	200,000	700,000	609,000
鎌田	2	2	27					140,000	8	121,000			164,000	8	120,000							304,000	241,000
松南	8	2	28	20,000	20,000	20,000	20,000	180,000	9	180,000	40,000	40,000	180,000	9	180,000	50,000	50,000	70,000	70,000	168,000	168,000	728,000	728,000
島内	8	2	22	20,000	20,000	20,000	20,000	140,000	6	115,799	40,000	40,000	248,000	14	206,000	50,000	50,000	70,000	70,000	200,000	200,000	788,000	721,799
中山	5	3	9			20,000	18,400				20,000	20,000	120,000	5	48,854			20,000	11,846	99,000	99,000	279,000	198,100
島立	7	2	28			20,000	20,000	60,000	3	60,000	40,000	40,000	144,000	6	115,000	50,000	50,000	70,000	70,000	157,000	157,000	541,000	512,000
新村	7	2	27	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	1	20,000	40,000	40,000	266,000	11	170,000			70,000	70,000	98,000	98,000	534,000	438,000
和田	7	2	17	20,000	20,000	20,000	20,000	40,000	2	40,000			115,000	6	115,000	50,000	50,000	70,000	70,000	108,000	108,000	423,000	423,000
神林	6	2	28			20,000	20,000				40,000	40,000	40,000	2	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000	108,000	108,000	308,000	308,000
笹賀	4	2	28	20,000	20,000	20,000	20,000						241,000	8	127,000					193,000	193,000	474,000	360,000
芳川	5	2	27	20,000	20,000	20,000	20,000			40,000	40,000	76,000	3	41,000	50,000		70,000	70,000			276,000	191,000	
寿	7	2	28	20,000	20,000	20,000	20,000			40,000	40,000	60,000	3	60,000	50,000	50,000	70,000	70,000	200,000	200,000	460,000	460,000	
寿台	8	2	15	20,000	20,000	20,000	20,000	160,000	8	160,000	40,000	40,000	160,000	7	140,000	50,000	50,000	70,000	70,000	110,000	110,000	630,000	610,000
岡田	6	2	20			20,000	20,000			40,000	40,000	140,000	7	140,000	50,000	50,000	70,000	53,331	143,000	6,000	463,000	309,331	
入山辺	4	2	28			20,000	20,000			40,000		205,000	6	99,000	20,000	20,000	10,000	10,000			295,000	149,000	
里山辺	7	2	28	20,000	20,000	20,000	20,000			40,000	40,000	180,000	9	180,000	50,000	50,000	70,000	70,000	200,000	200,000	580,000	580,000	
今井	7	2	24	20,000	20,000	20,000	20,000			40,000	40,000	140,000	7	140,000	50,000	50,000	70,000	70,000	102,000	102,000	442,000	442,000	
内田	6	2	28	20,000	20,000	20,000	20,000			40,000	40,000	160,000	8	160,000	30,000	30,000	70,000	70,000			340,000	340,000	
本郷	8	2	28	20,000	20,000	20,000	20,000	520,000	24	454,996	40,000	40,000	79,000	4	62,000	50,000	50,000	70,000	68,000	200,000	200,000	999,000	914,996
松原	7	2	21	20,000	20,000	20,000	20,000			40,000	40,000	60,000	3	60,000	50,000	50,000	70,000	70,000	90,000	90,000	350,000	350,000	
四賀	8	2	28	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	1	20,000	40,000	40,000	300,000	15	300,000	50,000	50,000	70,000	70,000	121,000	121,000	641,000	641,000
安曇	6	2	21	20,000	20,000	20,000	20,000			40,000	40,000				50,000	50,000	50,000	50,000	72,000	72,000	252,000	252,000	
奈川	6	2	16	20,000	20,000	20,000	20,000			40,000	40,000				50,000	50,000	70,000	70,000	61,000	61,000	261,000	261,000	
梓川	6	2	24	20,000	20,000	20,000				40,000	40,000	295,000	13	235,000	50,000	50,000	70,000	70,000	200,000	200,000	695,000	615,000	
波田	6	2	28	20,000	20,000	20,000	20,000					429,000	21	354,000	50,000	50,000	70,000	70,000	200,000	200,000	789,000	714,000	
合計	225			27	27	33	32	16		14	30	29	32		32	30	29	33	32	30	30	231	225
				540,000	540,000	655,000	633,400	1,600,000	74	1,411,795	1,170,000	1,130,000	5,489,000	263	4,571,854	1,450,000	1,400,000	2,110,000	2,013,137	4,259,000	4,122,000	17,273,000	15,822,186

令和4年度 「敬老の日」行事 地区別実施状況一覧表

地区	単価	人数	行事費 交付額	地区社協 負担金	町会等 負担金他	収入合計	事業総経費	事業内容
第一	700	285	199,500	29,500	142,540	371,540	371,540	町会ごとに祝金品贈呈。町会連合会単位で祝賀会を開催
第二	700	627	438,900	188,100	624,092	1,251,092	1,251,092	町会ごとに祝金品贈呈
第三	700	807	564,900	403,500	596,858	1,565,258	1,565,258	町会ごとに祝金品贈呈
東部	700	706	494,200		536,068	1,030,268	1,030,268	町会ごとに祝金品贈呈
中央	700	474	331,800	142,200	730,968	1,204,968	1,204,968	町会ごとに祝金品贈呈
城北	700	1,336	935,200	9,000	965,470	1,909,670	1,909,670	町会ごとに祝金品贈呈
安原	700	732	512,400		948,250	1,460,650	1,460,650	町会ごとに祝金品贈呈
城東	700	661	462,700		784,093	1,246,793	1,246,793	町会ごとに祝金品贈呈
白板	700	1,050	735,000	525,000	753,456	2,013,456	2,013,456	町会ごとに祝金品贈呈。2町会で祝賀会開催
田川	700	642	449,400	321,000	534,228	1,304,628	1,304,628	町会ごとに祝金品贈呈。1町会で祝賀会開催
庄内	700	1,979	1,385,300	395,800	3,099,553	4,880,653	4,880,653	町会ごとに祝金品贈呈。1町会で祝賀会開催
鎌田	700	2,621	1,834,700	262,100	1,451,010	3,547,810	3,547,810	町会ごとに祝金品贈呈。1町会で祝賀会開催
松南	700	926	648,200		795,532	1,443,732	1,443,732	町会ごとに祝金品贈呈
島内	700	2,002	1,401,400	60,000	2,378,520	3,839,920	3,839,920	町会ごとに祝金品贈呈
中山	700	756	529,200	300,660	316,378	1,146,238	1,146,238	町会ごとに祝金品贈呈
島立	700	1,362	953,400	136,200	610,801	1,700,401	1,700,401	町会ごとに祝金品贈呈
新村	700	676	473,200	135,200	441,548	1,049,948	1,049,948	町会ごとに祝金品贈呈
和田	700	663	464,100	195,600		659,700	659,700	町会ごとに祝金品贈呈
神林	700	948	663,600	441,675		1,105,275	1,105,275	町会ごとに祝金品贈呈
笹賀	700	1,708	1,195,600		1,388,286	2,583,886	2,583,886	町会ごとに祝金品贈呈。1町会で祝賀会開催
芳川	700	2,369	1,658,300	1,184,500	1,250,746	4,093,546	4,093,546	町会ごとに祝金品贈呈。1町会で祝賀会開催
寿	700	2,026	1,418,200	193,400	1,086,131	2,697,731	2,697,731	町会ごとに祝金品贈呈
寿台	700	781	546,700		277,100	823,800	823,800	町会ごとに祝金品贈呈。2町会で祝賀会開催
岡田	700	1,112	778,400	566,800	191,120	1,536,320	1,536,320	町会ごとに祝金品贈呈
入山辺	700	597	417,900	102,600	253,109	773,609	773,609	町会ごとに祝金品贈呈。1施設で祝賀会開催
里山辺	700	2,075	1,452,500	622,500	613,995	2,688,995	2,688,995	町会ごとに祝金品贈呈
今井	700	783	548,100		861,082	1,409,182	1,409,182	町会ごとに祝金品贈呈
内田	700	368	257,600	130,380		387,980	387,980	地区全体で祝品贈呈
本郷	700	2,540	1,778,000		149,344	1,927,344	1,927,344	4ブロックごとに祝金品贈呈
松原	700	399	279,300		92,059	371,359	371,359	地区全体で祝金品贈呈
四賀	700	1,137	795,900	909,945	89,927	1,795,772	1,795,772	町会ごとに祝金品贈呈。1町会1施設で祝賀会開催
安曇	700	332	232,400		394,318	626,718	626,718	町会ごとに祝金品贈呈。1町会で祝賀会開催
奈川	700	198	138,600	3,499		142,099	142,099	地区全体で祝品贈呈
梓川	700	2,031	1,421,700	596,306	503,876	2,521,882	2,521,882	町会ごとに祝金品贈呈
波田	700	2,695	1,886,500		1,723,433	3,609,933	3,609,933	町会ごとに祝金品贈呈。2町会で祝賀会・りんご狩り
合計		40,404	28,282,800	7,855,465	24,583,891	60,722,156	60,722,156	

令和4年度 ふれあい会食会 実績及び助成対象一覧

	地区名	1人暮らし 高齢者 数	補助可能者数			実施 済み 回数 D	実施 予定 回数 E	決算額 F	参加者数			実施済 み食数 J	助成 対象 食数 K	助成可能 対象額 M	助成金 決定額 N	助成金 確定額 L
			対象者 A	協力 者 B	計 C= A+B				対象者 G	協力者 H	計 I= G+H					
1	第一	95	49	10	59	2	2	793,290	140	42	182	182	118	59,000	59,000	59,000
2	第二	203	105	10	115	3	3	487,585	316	44	360	360	345	172,500	172,500	172,500
3	第三	239	124	10	134	3	3	410,380	652	82	734	734	402	201,000	201,000	201,000
4	東部	254	132	10	142	3	3	600,000	804	75	879	879	426	213,000	213,000	213,000
5	中央	153	79	10	89	3	3	168,610	239	96	335	335	267	133,500	133,500	133,500
6	城北	442	230	10	240	6	3	450,259	743	258	1,001	1,001	720	360,000	360,000	360,000
7	安原	226	117	10	127	3	3	446,220	906	79	985	985	381	190,500	190,500	190,500
8	城東	234	121	10	131	22	3	450,014	439	101	540	540	393	196,500	196,500	196,500
9	白板	327	170	10	180	29	3	809,998	603	267	870	870	540	270,000	270,000	270,000
10	田川	191	99	10	109	3	3	325,854	604	77	681	681	327	163,500	163,500	163,500
11	庄内	499	260	10	270	5	2	377,639	253	40	293	293	273	270,000	270,000	136,500
12	鎌田	595	309	10	319	3	3	741,100	1,243	90	1,333	1,333	957	478,500	478,500	478,500
13	松南	391	204	10	214	16	3	516,897	612	74	686	686	642	321,000	321,000	321,000
14	島内	327	170	10	180	15	3	306,570	476	30	506	506	506	270,000	270,000	253,000
15	中山	126	65	10	75	0	3	0	0	0	0	0	0	112,500	112,500	0
16	島立	206	106	10	116	3	3	495,000	318	30	348	348	348	174,000	174,000	174,000
17	新村	100	51	10	61	1	2	33,480	51	14	65	65	61	61,000	61,000	30,500
18	和田	82	42	10	52	3	3	169,340	212	54	266	266	156	78,000	78,000	78,000
19	神林	127	66	10	76	6	3	122,400	137	30	167	167	162	114,000	81,000	81,000
20	笹賀	315	164	10	174	2	2	265,000	405	20	425	425	348	174,000	174,000	174,000
21	芳川	497	259	10	269	3	3	438,775	853	85	938	938	807	403,500	403,500	403,500
22	寿	394	205	10	215	4	3	476,120	615	117	732	732	645	322,500	322,500	322,500
23	寿台	331	172	10	182	3	3	273,000	550	30	580	580	546	273,000	273,000	273,000
24	岡田	252	131	10	141	3	3	267,145	504	93	597	597	423	211,500	211,500	211,500
25	入山辺	79	41	10	51	1	3	94,782	47	15	62	62	51	76,500	76,500	25,500
26	里山辺	459	239	10	249	11	3	475,055	717	197	914	914	747	373,500	373,500	373,500
27	今井	93	48	10	58	3	3	273,666	351	138	489	489	174	87,000	87,000	87,000
28	内田	73	38	10	48	3	3	100,790	75	31	106	106	105	72,000	72,000	52,500
29	本郷	751	391	10	401	8	3	417,509	172	93	265	265	202	601,500	601,500	101,000
30	松原	70	35	10	45	2	2	80,359	84	20	104	104	90	45,000	45,000	45,000
31	四賀	280	145	10	155	3	3	298,023	435	43	478	478	465	232,500	232,500	232,500
32	安曇	72	37	10	47	5	3	276,562	201	38	239	239	141	70,500	70,500	70,500
33	奈川	61	31	10	41	3	3	122,960	105	20	125	125	123	61,500	61,500	61,500
34	梓川	304	158	10	168	4	3	567,465	496	68	564	564	504	252,000	252,000	252,000
35	波田	470	244	10	254	22	3	1,014,402	767	102	869	869	762	381,000	381,000	381,000
	合計	9,318	4,837	350	5,187	209	100	13,146,249	15,125	2,593	17,718	17,718	13,157	7,476,000	7,443,000	6,578,500

松本市ボランティアセンター
令和4年度 福祉教育出前講座実施一覧

※UD:ユニバーサルデザイン

実施日	実施先	内容
4/26(火)	KTCおおぞら高等学園	ボランティアについて
5/30(月)	明善中3年生	高齢者疑似体験
6/22(水)	鎌田中1年3組	松本の福祉について、UDについて等
7/7(木)	山辺小3年2組	ヘルプマーク学習
7/16(土)	双葉西町会	ボッチャ体験
8/19(金)	山辺放課後児童クラブ	アイマスク体験
8/24(水)	鎌田中支援学級	ブラインドチャレンジ、車いす体験・アイマスク体験
8/26(金)	松本美須ヶヶ丘高校	ボッチャ体験
8/31(水)	女鳥羽中3年生	高齢者疑似体験
9/5(火)	梓川高校	ボランティアについて(計11回)
9/8(木)	浅間児童センター	ボッチャ体験
9/16(金)	二子児童センター	車いす体験、防災学習
9/26(月)	波田児童センター	福祉学習
9/27(火)	並柳児童センター	ボッチャ体験
9/27(水)	梓川児童センター	車いす体験、アイマスク体験
9/27(火)	島内児童センター	ヘルプマーク学習、車いす体験
10/11(火)	旭町小学校3年生	アイマスク体験
10/14(金)	寿放課後児童クラブ	ボッチャ体験
10/15(土)	双葉西町会	ボッチャ体験
10/17(月)	鎌田児童センター	車いす体験、アイマスク体験、UD体験、災害について、ボランティアって?
10/26(水)	高宮児童センター	車いす体験、UD体験
11/4(金)	並柳児童センター	防災学習
11/5(日)	奈川小学校	車いす体験
11/5(日)	奈川中学校	高齢者疑似体験
11/7(月)	あがた児童センター	車いす体験
11/11(金)	会田中学校1年生	車いす体験、UD体験
11/15(火)	新村地区	車いすの操作介助方法
11/16(水)	島立児童センター	ヘルプマーク学習
11/28(月)	開明小学校4年生	アイマスク体験
12/6(火)	カモミールハウス	高齢者疑似体験
12/13(水)	梓川高校	高齢者について
12/22(木)	島立小学校4年2組	車いす体験
2/8(水)	南部児童センター	アイマスク体験
2/15(水)	今井児童センター	認知症学習
3/20(月)	田川児童センター	車いす体験、アイマスク体験、防災学習

令和4年度 地区生活支援員の活動状況

地区名	主な活動内容
第一	<ul style="list-style-type: none"> ・地区生活支援体制整備委員会（協議体）結成に参画 ・ささえあいマップ、つむぎちゃんサポート等周知活動 ・生活支援体制整備に関わるアンケート調査 ・出張事業「ご近所ひろばだよ！全員集合！」実施・拡充 ・地区内行事・イベントに参画 ・フレイル傾向の高齢者を民生委員と訪問 ・避難所開設運営委員会・関連事業等に参画
第二	<ul style="list-style-type: none"> ・銭湯活用企画「銭湯サロン」への参画 ・フードドライブ実施 ・地区内行事・イベントに参画 ・つむぎちゃんサポート協力会員募集
第三	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防講座開催 (地域包括支援センター、地区担当保健師、福祉ひろばと共催) ・移動支援の試行 ・「よろず相談会」の実施（地域包括支援センター、地区担当保健師と共催） ・つむぎちゃんサポート事業との連携 ・地区内ボランティア等活動団体との連携
東部	<ul style="list-style-type: none"> ・折り紙支援活動の発案、始動（地区支援企画会議にて） ・独居高齢者見守り活動（地域包括支援センターと連携） ・つむぎちゃんサポート事業との連携 ・各町会長やサロンでのニーズの聞き取り調査
中央	<ul style="list-style-type: none"> ・町会の避難行動要支援者のための個別支援計画作成に参加 ・地区内の住民の集いの場探し ・地区のマンパワーの発掘 ・認知症プチ講座開催（地域包括支援センター共催） ・マンション住民に通いの場紹介（地域包括支援センターと連携）
城北	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の部会（協議体）と高齢者アンケート実施、まとめ・検証 ・福祉の部会、地区社協活動支援 ・サロン活動、百歳体操立ち上げ、町会マップ作成等支援 ・民生児童委員、関係職員との連携強化（情報共有）
安原	<ul style="list-style-type: none"> ・つむぎちゃんサポート事業との連携 ・地区サロン、町会サロンへの参加 ・地区防災の取組みへの関り

地区名	主な活動内容
城東	<ul style="list-style-type: none"> ・ インフォーマルサービスの支援 ・ 町会サロン、百歳体操の立ち上げ支援 ・ つむぎちゃんサポート説明会開催 ・ 「相続・終活セミナー」開催（3回） ・ 高齢者生活支援（ゴミ出し、草取り・枝払い、雪かき）の立ち上げ支援
白板	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動支援の試運転開始 ・ 「保健手帳」の配布・利用促進（保健師と連携） ・ 通いの場の活動支援 ・ 放光寺町会「お互いさまタクシー」事業の地区展開について調査 ・ 買い物支援についての実態調査・検討
田川	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通いの場の活動支援 ・ 田川小で認知症サポーター養成講座開催（地域包括支援センターと共催） ・ 地区「いきいきサロン」支援 ・ 介護予防講座開催 （地域包括支援センター、地域づくりセンター、公民館、福祉ひろば共催） ・ 困った時の連絡先一覧「安心カード」作成・配布
庄内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「庄内福祉のチカラ」推進と高齢者生活支援ガイドブックの見直しと活用 ・ 町会サロン、有志サロン等の運営支援 ・ つむぎちゃんサポート事業との連携 ・ 子ども居場所づくり推進事業「なみカフェ」のコーディネート
鎌田	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町会サロン、百歳体操の推進・活動支援 ・ 「オレンジカフェ鎌田」活動支援 ・ 認知症サポーター養成講座、介護予防講座の支援・協力
松南	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各町会サロン支援 ・ ささえあいマップ作成支援 ・ 認知症サポーター養成講座開催（3回＝地域包括支援センター共催） ・ オレンジカフェ立ち上げ ・ 「こども食堂&炊き出し訓練」開催 ・ 地区ボランティア支援
島内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 百歳体操立ち上げ支援 ・ コミュニティバスを活用した生活支援サービスを提案 ・ 防災個別支援計画作成・見直し ・ ボランティア等担い手育成 ・ 認知症サポーター養成講座開催（地域包括支援センター共催）

地区名	主な活動内容
中山	<ul style="list-style-type: none"> ・有償生活支援サービス「助け合おうぜ！中山」活動支援 ・「常会お茶飲み会」（通いの場）支援 ・傾聴ボランティア講座＋認証サポーター養成講座開催（地域包括支援センター共催） ・人生会議＋終活講座開催（公民館共催） ・認知症の方のカラオケ会開催
島立	<ul style="list-style-type: none"> ・おたすけ隊島立継続支援（ゴミ出し、草取り、雪かき）活動支援 ・災害時住民支え合いマップ作成支援（2町会） ・百歳体操立ち上げ支援 ・地域包括支援センターと地区生活支援員の役割を寸劇で紹介 ・スマホ講座・スマホお困りごと相談開催（公民館共催） ・介護予防講座開催（毎月＝福祉ひろば、地域包括支援センター共催）
新村	<ul style="list-style-type: none"> ・「困りごとお助け連絡帳」作成・配布（全戸） ・高齢者困りごとアンケート実施 ・地区内移動販売調査 ・「福祉のつどい」企画
和田	<ul style="list-style-type: none"> ・町会サロン新規立ち上げ支援 ・「困った時の連絡先一覧」作成・追加 ・「家族のための思いやりカフェ」立ち上げ ・地区地域福祉計画見直し ・「地域課題を住民と共に考える会」（協議体）発足準備開始
神林	<ul style="list-style-type: none"> ・パイナップルカフェ支援継続 ・百歳体操立ち上げ支援 ・つむぎちゃんサポート事業との連携 ・出張サロン＋コタケ商店出張販売コラボ企画開催
笹賀	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン、百歳体操立ち上げ支援 ・個人商店への聞き取り（情報収集） ・児童センターとの連携（認知症サポーター養成講座開催等） ・ふれ健での無料タクシー送迎導入と移動販売体験の実施 ・つむぎちゃんサポート事業との連携
芳川	<ul style="list-style-type: none"> ・百歳体操立ち上げ支援、推進協力 ・スマホ体験講座 ・地区サロン、体操教室支援 ・高齢者向け「健康意識調査」実施

地区名	主な活動内容
寿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通弱者対策「聞き取り調査」実施、結果集計 ・ ことぶきサポート本格始動 ・ ことぶきサポートキャラクター募集、決定 ・ 地元サポーター養成講座・スキルアップ講座 ・ 「古い支度講座」 ・ ことぶきサポートマッチングスタッフの雇用
寿台	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寿台マルシェ・街角ランチ「かたらい」実施 ・ ゲーム式のウォーキング記録表作成 ・ お元気ですか訪問 ・ 若手担い手養成 ・ つむぎちゃんサポート地区運営 ・ スマみじ手習い会（もっとスマホを身近に/困りごと相談、操作指導） ・ 「留守メモ」「寿台地区私の安心連絡メモ」作成・配布
岡田	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡田町サロン「サンサンかふえ」支援 ・ 人材育成講座 ・ 独居高齢者見守り支援
入山辺	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者対象アンケート調査、集計 ・ セニアカーの試乗体験会（地域包括支援センター共催） ・ グランドウォーキング立ち上げ ・ つむぎちゃんサポート導入に向けた取組み
里山辺	<ul style="list-style-type: none"> ・ つながろう会活動支援 ・ つむぎちゃんサポート地区運営 ・ 栄養講座開催協力 ・ 百位歳体操代表者交流会開催 ・ 認知症サポーター養成講座開催支援
今井	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症サポーター養成講座・ボランティア育成講座実施 ・ つむぎちゃんサポート導入に向けた取組み ・ 町会サロン立ち上げ支援 ・ 「困りごとアンケート」実施 ・ スマホ講座
内田	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区・町会サロン立ち上げ、支援 ・ 高齢者対象アンケート調査実施 ・ 交通手段調査と移動販売車等の把握 ・ 認知症・福祉用品紹介等講座開催（地域包括支援センター共催） ・ PPKスクール開催（公民館、地域包括支援センター、保健師と共催） ・ つむぎちゃんサポート導入に向けた取組み

地区名	主な活動内容
本郷	<ul style="list-style-type: none"> ・ サロン活動立ち上げ支援、サロン交流会実施 ・ 百歳体操推進、体験会開催 ・ スマホサロン支援 ・ eスポーツ世代間交流開催 ・ 地区ボランティア協議会「ささえあいの会」活動支援 ・ 地区版「えんがわベンチ」制作・活用 ・ ささえあいマップ作りの推進・支援
松原	<ul style="list-style-type: none"> ・ 百歳体操普及と体操後のサロン立ち上げ ・ 介護予防講座開催（公民館事業協力） ・ 松原サポート運営 ・ ささえあいマップ作成開始（地域包括ケアシステム委員会） ・ 移動支援等協議会に参加
四賀	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小さな単位でのマップ作り ・ 百歳体操立ち上げ支援 ・ スマホ勉強会、スマホサークル活動支援 ・ デマンドバス、公共交通でお出かけ支援 ・ 「地域を考える会」開催 ・ 「オレンジ会」「すいーとぴーの会」活動支援
安曇	<ul style="list-style-type: none"> ・ 百歳体操体験会開催、立ち上げ支援 ・ 70歳以上高齢者「生活状況に関するアンケート」実施、集計、検証 ・ 町会サロン再開支援
奈川	<ul style="list-style-type: none"> ・ つむぎちゃんサポート導入に向けた取組み ・ 送迎ボランティア立ち上げ ・ 地区資源活用方法冊子作成 ・ 地区見どころウォーキングマップ作成
梓川	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老い支度講座（地域包括支援センター共催） ・ 「みんなのえんがわ」立ち上げ（保健師と共催）
波田	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症カフェ「しあわせカフェ」支援 ・ 認知症サポーター養成講座開催協力（波田児童センター） ・ 地域支援情報冊子「波田くらしのささえあい情報」作成、追加 ・ 梓川高校被服実習サポートボランティアと連携し高齢者の社会参加支援

令和4年度 日常生活自立支援事業実績報告書

令和5年3月31日

基幹的社協名	松本市 社会福祉協議会				
市町村数	基幹的社協 1市 管内町村 3村 (麻績村、生坂村、筑北村)		生活支援員数 (3月末現在)	4名(内、活動者数4名)	
新規相談件数	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他 (対象外)	合計
	31件	0件	22件	1件	54件
契約	本年度契約数	6名		事業開始からの 契約件数	449名
解約	本年度解約数	13名		事業開始からの 解約件数	302名
実利用者数	137名(内、生活保護利用者66名、管内町村利用者5名)				
延べ支援回数	3,412回				

令和4年度 成年後見支援センターかけはし 実績報告書 1

令和5年3月31日現在

【相談対応状況】

相談件数											相談形態					相談担当者			対象者 (複数相談あり)								相談者 (複数あり)														相談内容 (複数あり)								紹介先 (複数あり)								対応結果																				
新規・継続別		市村別									1	2	3	4	5	1	2	3	障害種別				市村別								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14								
1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14						
新規	継続	松本市	安曇野市	麻績村	生坂村	山形村	朝日村	筑北村	その他	訪問	来所	電話	会議	その他	センター職員	弁護士	司法書士	認知症	精神障害	知的障害	その他	松本市	安曇野市	麻績村	生坂村	山形村	朝日村	筑北村	その他	市町村	障害者相談支援センター	社会福祉協議会	福祉事業者	本人	親族	民生・児童委員	知人・隣人	司法関係者	医療機関	後見受任者	他後見センター	その他	後見制度全般	申立手続き	申立人	後見人候補者	申立・報酬費用	身上監護	財産管理	権利侵害	後見ニーズ・判断能力	状況調査・ケース調整	その他	市町村	障害者相談支援センター	社会福祉協議会	弁護士会	リーガル	ばあとなあ	その他	終了	継続	紹介														
合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計																			
4月	17	12	29	21	2	0	0	0	5	0	1	29	0	3	18	0	8	29	28	0	1	29	14	0	0	15	29	21	2	0	0	0	5	0	1	29	8	8	0	1	2	0	2	0	0	0	9	32	6	4	2	4	0	1	5	0	9	9	24	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	14	0	29				
5月	20	32	52	27	21	0	0	0	1	0	3	52	0	3	38	0	11	52	51	1	0	52	16	2	4	30	52	27	21	0	0	0	1	0	3	52	6	22	0	2	1	0	5	0	2	0	0	0	1	14	53	9	3	3	6	1	1	2	0	8	19	38	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	35	0	52	
6月	19	15	34	25	3	0	0	0	0	0	6	34	3	2	17	0	12	34	33	1	0	34	6	2	1	25	34	25	3	0	0	0	0	0	6	34	1	11	1	5	2	0	5	0	0	4	0	0	1	5	35	3	0	0	0	1	1	5	0	3	5	29	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	14	0	34	
7月	16	12	28	12	12	0	0	2	0	1	1	28	0	4	19	0	5	28	27	1	0	28	6	3	1	18	28	12	12	0	0	2	0	1	1	28	4	8	0	2	2	0	9	0	1	0	1	1	0	3	31	10	5	3	3	1	1	5	1	5	4	20	58	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	19	8	1	28
8月	14	8	22	10	8	0	0	0	0	2	2	22	0	2	19	0	1	22	21	1	0	22	4	2	0	16	22	10	8	0	0	0	0	2	2	22	7	2	0	2	2	1	5	0	0	0	3	0	0	0	22	7	4	2	2	0	1	2	1	1	5	8	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	9	0	22	
9月	23	11	34	22	11	0	0	1	0	0	0	34	4	1	29	0	0	34	33	0	1	34	10	3	3	18	34	22	11	0	0	1	0	0	0	34	12	8	0	4	0	0	3	0	0	0	1	0	0	6	34	13	4	2	3	0	2	5	2	9	5	23	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	8	0	34	
10月	21	16	37	33	2	0	0	0	0	2	37	0	6	27	0	4	37	31	4	2	37	10	4	1	22	37	33	2	0	0	0	0	0	2	37	10	10	0	1	0	0	11	0	2	1	0	0	1	3	39	12	9	2	3	2	0	3	0	3	7	19	60	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	23	13	1	37	
11月	11	16	27	21	2	0	0	4	0	0	0	27	0	1	21	0	5	27	26	1	0	27	7	2	5	13	27	21	2	0	0	4	0	0	0	27	14	1	0	3	0	0	1	0	0	2	2	0	0	4	27	2	1	1	3	1	0	0	0	5	17	17	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	15	0	27	
12月	15	23	38	24	9	0	0	5	0	0	0	38	0	4	24	0	10	38	34	0	4	38	16	2	5	15	38	24	9	0	0	5	0	0	0	38	9	13	0	6	1	0	4	0	0	2	0	0	0	3	38	5	3	0	2	0	0	1	0	3	12	28	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	18	0	38	
1月	12	12	24	21	1	0	0	0	0	2	24	0	1	20	0	3	24	23	1	0	24	10	0	2	12	24	21	1	0	0	0	0	0	2	24	5	6	0	2	1	0	3	0	0	1	2	0	0	4	24	3	1	2	2	0	0	1	0	1	8	20	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	12	0	24		
2月	17	9	26	18	4	0	2	0	0	0	2	26	0	4	17	0	5	26	23	2	1	26	11	1	3	12	27	19	4	0	2	0	0	0	2	27	4	8	0	2	0	3	7	1	0	0	0	0	0	1	26	3	1	0	1	0	2	0	0	4	8	16	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	7	0	26	
3月	18	21	39	28	2	3	0	0	0	0	6	39	0	5	27	0	7	39	34	0	5	39	9	2	4	25	40	29	2	3	0	0	0	0	6	40	12	6	0	3	2	2	8	0	1	0	0	0	1	5	40	11	2	1	2	0	1	4	1	4	9	28	63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	15	0	39	
合計	203	187	390	262	77	3	2	12	6	3	25	390	7	36	276	0	71	390	364	12	14	390	119	23	29	221	392	264	77	3	2	12	6	3	25	392	92	103	1	33	13	6	63	1	6	12	9	1	4	57	401	84	37	18	31	6	10	33	5	55	108	270	657	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	220	168	2	390

〔法人後見等受任状況〕

受任件数 (累計)	対 象 者																		
	類 型				障 害 種 別				市 村 別										
	1 後見	2 保佐	3 補助	合 計	1 認知症	2 精神障害	3 知的障害	4 その他	合 計	1 松本市	2 安曇野市	3 麻績村	4 生坂村	5 山形村	6 朝日村	7 筑北村	8 その他	合 計	
年度当初	191	159	29	3	191	104	31	34	22	191	123	44	0	5	12	2	1	4	191
4月	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
7月	2	1	1	0	2	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2
8月	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	197	164	30	3	197	109	31	34	23	197	127	46	0	5	12	2	1	4	197

〔法人後見等支援状況〕

支 援 状 況	支 援 状 況																	
	後 見					保 佐					補 助							
	1 訪問	2 財産管理	3 身上監護	4 打合せ	5 その他	合 計	1 訪問	2 財産管理	3 身上監護	4 打合せ	5 その他	合 計	1 訪問	2 財産管理	3 身上監護	4 打合せ	5 その他	合 計
4月	16	329	208	4	101	658	11	87	70	0	31	199	1	5	1	0	0	7
5月	16	274	147	5	62	504	12	87	53	1	10	163	1	5	2	0	3	11
6月	18	354	257	2	62	693	13	104	70	3	13	203	1	8	3	0	0	12
7月	17	201	325	2	97	642	13	88	81	1	14	197	1	9	0	0	0	10
8月	15	243	325	3	55	641	10	93	81	0	24	208	1	16	2	0	0	19
9月	16	273	256	1	61	607	12	90	77	2	9	190	1	10	2	0	0	13
10月	16	282	204	4	37	543	13	79	57	0	3	152	1	4	2	0	0	7
11月	22	258	279	6	64	629	13	83	60	1	1	158	1	6	2	0	0	9
12月	17	297	294	1	50	659	8	93	79	3	5	188	1	8	4	0	0	13
1月	21	238	236	1	40	536	12	91	54	0	2	159	1	6	0	1	0	8
2月	17	287	180	2	116	602	13	89	66	1	17	186	1	6	3	0	0	10
3月	15	196	144	1	50	406	11	136	101	3	11	262	1	4	1	0	0	6
合 計	206	3232	2855	32	795	7120	141	1120	849	15	140	2265	12	87	22	1	3	125

〔会議等出席状況〕

対 応 内 容	市 村 別										合 計	
	1 松本市	2 安曇野市	3 麻績村	4 生坂村	5 山形村	6 朝日村	7 筑北村	8 構成市村全体向け	9 その他	合 計		
	4月	12	0	0	0	0	0	0	0	5		1
5月	9	3	4	0	16	6	0	0	0	6	4	16
6月	4	4	0	2	10	6	2	0	0	0	2	10
7月	3	4	0	1	8	7	0	0	0	1	0	8
8月	3	4	6	3	16	7	1	0	0	0	8	16
9月	5	0	6	0	11	5	0	0	0	0	6	11
10月	10	12	0	0	22	8	3	0	0	1	0	22
11月	8	2	9	5	24	7	2	0	0	0	5	10
12月	3	11	8	0	22	3	3	0	0	0	8	22
1月	6	8	0	0	14	3	0	0	0	0	11	0
2月	2	0	2	7	11	4	0	0	1	1	0	4
3月	3	1	12	0	16	0	0	1	0	0	0	15
合 計	68	49	47	18	182	59	14	1	1	2	1	145

〔終了件数〕

件数 (累計)	理 由																												
	類 型				障 害 種 別				市 村 別								申 立 人				理 由								
	1 後見	2 保佐	3 補助	合 計	1 認知症	2 精神障害	3 知的障害	4 その他	合 計	1 松本市	2 安曇野市	3 麻績村	4 生坂村	5 山形村	6 朝日村	7 筑北村	8 その他	合 計	1 市町村長	2 親族	3 本人	4 家庭裁判所	5 後見センター	6 専門職	合 計	1 死亡	2 辞任	3 類型変更	合 計
年度当初	110	96	12	2	110	79	10	10	11	110	75	25	0	4	4	1	1	0	110	62	40	4	2	0	110	83	26	1	110
4月	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1
5月	3	3	0	0	3	2	1	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3	2	1	0	0	0	3	3	0	0	3	
6月	2	1	1	0	2	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	2	1	0	1	2	
7月	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	
8月	1	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10月	2	2	0	0	2	1	1	0	0	2	2	1	0	0	1	0	0	2	1	1	0	0	0	2	1	1	0	2	
11月	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	
12月	1	1	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3月	2	2	0	0	2	1	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	2	2	0	0	2	
合 計	124	109	13	2	124	86	13	13	12	124	84	28	0	4	6	1	1	0	124	73	42	4	3	0	124	94	28	2	124

〔現在受任件数〕

73	55	17	1	73	23	18	21	11	73	43	18	0	1	6	1	0	4	73	42	26	1	1	2	1	73
----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---	---	----

〔市民後見人受任状況〕〔()内の数字は複数での件数〕

受任件数 (累計)	対象者																								
	類型				障害種別				市村別							申立人					合計				
	1 後見	2 保佐	3 補助	合計	1 認知症	2 精神障害	3 知的障害	4 その他	合計	1 松本市	2 安曇野市	3 麻績村	4 生坂村	5 山形村	6 朝日村	7 筑北村	合計	1 市町村長	2 親族	3 本人		4 家庭裁判所(職権)	5 成年後見支援センター	6 専門職後見人	合計
年度当初	15 (2)	15 (2)	0	0	15 (2)	13 (2)	1	1	0	15 (2)	11 (1)	3	0	0	1 (1)	0	0	15 (2)	11 (1)	3 (1)	0	0	0	1	15 (2)
4月				0					0								0							0	
5月				0					0								0							0	
6月	2 (2)	2 (2)	0	0	2 (2)	2 (2)	0	0	0	2 (2)	1 (1)	0	0	0	1 (1)	0	0	2 (1)	1 (1)	1	0	0	0	2 (2)	
7月				0					0								0							0	
8月				0					0								0							0	
9月				0					0								0							0	
10月				0					0								0							0	
11月				0					0								0							0	
12月				0					0								0							0	
1月				0					0								0							0	
2月				0					0								0							0	
3月				0					0								0							0	
合計	17 (2)	17 (2)	0	0	17 (2)	15 (2)	1	1	0	17 (2)	12 (1)	3	0	0	2 (1)	0	0	17 (2)	12 (1)	4 (1)	0	0	0	1	17 (2)

〔市民後見人支援状況〕

市民後見人支援状況	1 定期報告			2 相談		3 その他		合計
年度当初								
4月	4	0	10					14
5月	2	1	2					5
6月	2	3	17					22
7月	6	6	11					23
8月	4	0	4					8
9月	3	0	4					7
10月	5	1	8					14
11月	4	1	7					12
12月	4	0	5					9
1月	5	0	6					11
2月	4	2	4					10
3月	4	0	9					13
合計	47	14	87					148

〔市民後見人終了件数〕

件数 (累計)	類型			障害種別				市村別							申立人			理由											
	1 後見	2 保佐	3 補助	合計	1 認知症	2 精神障害	3 知的障害	4 その他	合計	1 松本市	2 安曇野市	3 麻績村	4 生坂村	5 山形村	6 朝日村	7 筑北村	合計	1 市町村長	2 親族	3 本人	4 家庭裁判所	5 後見センター	6 専門職	合計	1 死亡	2 辞任	3 類型変更	合計	
年度当初	9	9	0	0	9	8	0	1	0	9	7	2	0	0	0	0	0	9	6	2	0	0	0	1	9	8	1	0	9
4月				0					0								0								0			0	
5月				0					0								0								0			0	
6月				0					0								0								0			0	
7月				0					0								0								0			0	
8月				0					0								0								0			0	
9月				0					0								0								0			0	
10月				0					0								0								0			0	
11月				0					0								0								0			0	
12月				0					0								0								0			0	
1月				0					0								0								0			0	
2月				0					0								0								0			0	
3月				0					0								0								0			0	
合計	9	9	0	0	9	8	0	1	0	9	7	2	0	0	0	0	9	6	2	0	0	0	1	9	8	1	0	9	

〔市民後見人現在受任件数〕

8	8	0	0	8	7	1	0	0	8	5	1	0	0	2	0	0	8	6	2	0	0	0	0	8
(2)	(2)			(2)	(2)				(2)	(1)				(1)			(2)	(1)	(1)					(2)